

官報

號外

明治三十二年二月一日

水曜日

印刷局

第十三回 帝國議會 衆議院議事速記録第二十二號

明治三十二年一月三十一日(火曜日)午後一時十六分開議

議事日程 第二十號 明治三十二年一月三十一日

午後一時開議

- 第一 所得稅法改正法律案(政府提出) 第二讀會ノ續
- 第二 葉煙草專賣資金會計法中改正法律案(政府提出) 第一讀會ノ續
- 第三 郵便條例中改正法律案(政府提出) 第一讀會ノ續
- 第四 戎器火藥類取締法案(政府提出) 第一讀會ノ續
- 第五 臺灣銀行補助法案(政府提出) 第一讀會ノ續
- 第六 明治三十九年法律第六十三號中改正法律案(政府提出) 第一讀會ノ續
- 第七 商法修正案(政府提出) 第一讀會
- 第八 右議案ノ審查ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉 第一讀會
- 第九 國有林野法案(政府提出) 第一讀會
- 第十 右議案ノ審查ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉 第一讀會
- 第十一 國有土地森林原野下戻法案(政府提出) 第一讀會
- 第十二 明治三十年法律第十四號關稅定率法 第一讀會
- 第十三 中改正法律案(重岡嘉五郎君) 第一讀會ノ續
- 第十四 訴訟法中改正法律案(利光嶋松君) 第一讀會ノ續
- 第十五 民法中改正法律案(利光嶋松君) 第一讀會ノ續
- 第十六 失火ノ責任ニ關スル法律案(重岡嘉五郎君) 第一讀會ノ續
- 第十七 地價地租ニ錢位未滿ノ端數ヲ生スルトキ計算ニ關スル法律案(野間豐五郎君) 第一讀會
- 第十八 北海道水產稅則廢止法律案(加藤政之助君) 第一讀會
- 第十九 明治三十二年法律第十五號會計檢査院法中改正法律案(工藤行雄君) 第一讀會
- 第二十 建議案(藤金作君) 第一讀會
- 第二十一 國民教育授業料全廢ノ建議案(根本正君) 第一讀會
- 第二十二 府縣水產試驗所水產講習所國庫補助建議案(恒松隆慶君) 第一讀會

○議長(片岡健吉君) 是ヨリ諸般ノ報告ヲ致シマス

(寺田書記官朗讀)

政府ヨリ提出セラレタル議案左ノ如シ

國有林野法案

國有土地森林原野下戻法案

明治三十一年度歲入歳出總豫算追加案(第七號)

明治三十一年度特別會計歳入歳出豫算追加案(特追第四號)

貴族院ヨリ關稅定率法附屬輸入稅表中改正法律案ヲ回付セラレタリ

貴族院ヨリ本院ノ送付ニ係ル左ノ議案ヲ可決シタル旨通牒アリ

事業公債及鐵道公債特別會計法案

債金ヲ公債費途ヘ繰替運用ニ關スル法律案

債金特別會計法中改正法律案

明治二十三年法律第十四號廢止ニ關スル法律案

造幣局据置運轉資本增加ニ關スル法律案

葉煙草專賣資金會計法廢止ニ關スル法律案

北海道官設鐵道用品資金會計法案

作業會計法中改正法律案(製鐵所)

明治三十一年度歲入歳出總豫算追加案(第二號)(第五號)

議員ヨリ提出セラレタル議案左ノ如シ

鐵礦調査所設置ノ建議案

提出者 藤 金 作 君

國有山林原野整理處分ニ關スル建議案

提出者 橫 山 通 英 君

特別委員長及理事左ノ通當選セラレタリ

明治二十九年豫備金支出ノ件外七件

委員長 永 井 嘉 六 郎 君

理事 鹽 田 忠 左 衛 門 君

委員長 降 旗 元 太 郎 君

理事 石 谷 董 九 郎 君

委員長 杉 下 太 郎 右 衛 門 君

理事 渡 邊 猶 人 君

委員長 齊 藤 安 雄 君

理事 銀行條例中改正法律案外一件

○議長(片岡健吉君) 諸君ニ御諮リヲ致スコトガアリマス、質屋取締法

中改正法律案、是ハ一讀會ノ續キデ、既ニ委員付託ニナツテ居リマスガ、提

出者カラ撤回ヲシタイト云フコトデアリマス、御異議アリマスマイカ

(「異議ナシ」ト呼フ者アリ)

○議長(片岡健吉君) 御異議ナケレバ、提出者ノ申出通致シマス、請暇ノ件ニ附イテ諸君ニ御諮リスルコトガアリマス、中野武營君ハ病氣ノタメ、本月二十五日ヨリ二月四日マデ十日間ノ請暇ヲ申出デラレマシタガ、聽居ケマシテ御異議アリマスマイカ

(異議ナシト呼フ者アリ)

○議長(片岡健吉君) 聽居ケルコトニ致シマス、石田貫之助君ハ病氣ノタメニ、宅地組換法案委員ノ辭任ヲ申出デラレマシタガ、御異議ガナケレバ、聽居ケルコトニ致シマス

(異議ナシト呼フ者アリ)

○議長(片岡健吉君) 是ハ議長指名ニ成立ッタ委員デアリマスカラ、御異議ガナケレバ、議長ハ伊達文三君ヲ指名スルコトニ致シマス

(異議ナシト呼フ者アリ)

○議長(片岡健吉君) 議事日程ノ第一、所得稅法改正法律案貴族院回付、是ハ全部ヲ議題ニ供シマス

第一 所得稅法改正法律案(政府提出)

○星亨君(二百二十四番) 貴族院ニ於テ修正ニナツテ居ルサウデゴザイマスカラ、ツレヲ一應御讀上ヲ願ヒタイ、修正ノ分ダケヲ……

○議長(片岡健吉君) ツレハ貴族院ノ修正ヲ讀上ゲルコトニ致シマス

星亨君、貴族院修正ノ分ハ、諸君ノ御手許ニ印刷ニシテ回シテアリマスガ、隨分ハ混雜シテ居リマスガ……

○星亨君(二百二十四番) サウデスカ、ツシナラ……

○瀧口歸一君(二百八十五番) 此所得稅法ノ貴族院回付ノコトニ附キマシテ、政府委員ニ質問ヲシタウゴザイマス

○議長(片岡健吉君) 宜シウゴザイマス

(瀧口歸一君演壇ニ登ル)

○瀧口歸一君(二百八十五番) 此所得稅法改正法律案ノ貴族院ノ回付ニナリマシタモノ、第三條ノ第二種、是ハ本院ニ於キマシテハ、此第二種千分ノ二十ト云フモノヲ削リマシタル要點ハ、此公債社債ト云フモノニ千分ノ二十ヲ課スト、他ノ所得稅ハ三百圓ニ滿タナイモノハ取ラナイト、三百圓中ノ缺イタモノハ取ラナイモノニナツテ居ルニモ拘ラズ此公債社債ニ限ツテハ總令五十圓百圓券ノ一枚ヲ所有スルモノモ之ヲ徵收スルト、斯ウナツテ居ルノデゴザイマス、成ル程金額ハ畢竟五十圓券ニ對スル五錢百分ノ一即チ五錢、百圓ニ對シテ十錢ヲ徵スルト云フノデゴザイマスカラ、金額ハ知レタモノデアリマスガ、二百圓ニ滿タナイモノハ取ラナイト云フモノニ比例ハ附カナイデ、殊更此軍事公債ノ如キ日清戰役ノ此半ニ當ツテ、此募集ヲサレタ所ノ公債證書デゴザイマス、是ハ實ニ日本臣民タル者ノ傍觀座視スルニ忍ビザルコトヨリシテ、赤心ヲ以テ募集ニ應ジタル所ノ公債證書デゴザイマス、決シテ之ヲ有餘ルモノヲ以テ所有シテ居ル者バカリトハ申サレマセヌ、實ニ之ヲ赤心ヲ以テ、此募集ニ應ジテ所有シテ居ル、デ、五十圓百圓券ヲ持チ、持チ得ナイ者マデガ、之ヲ或ハ妻子ノ衣食ヲ省キ、或ハ從軍ノ出願モシタイ等ノ者モアルガ、年齡ノ制限ガアル、是ハ許サレナイ、責テハ此万分ノ一ニ報ズル所

ノ軍事公債ノ申込ヲシヤウト云フヤウナ所ヨリシテ、所有シテ居ル者、其者ニ對シマシテ僅少ナモノトハ申シナガラ、他ノ比例モ附カナイヤウナ茲ニ徵稅方ヲスルト云フコトハ、ドウモ是ハ宜シクナイト斯ウ云フ所ヨリ、先キニ本院ニ於キマシテハ之ヲ削除スルコトニナリマシタデゴザイマス、然ルニ貴族院ニ於キマシテハ、之ヲ復活スルト斯ウ云フモノニナリマシタ、是ハ貴族院ノ彼ノ速記録ヲ見マスルト、單ニ公債證書ノ價格ニ影響スルト斯ウ云フ所ヲ以テ、之ニ復活スルコトニナツタモノ、ヤウニ私ハ認メテ居リマスガ、幾分ノ其公債證書ノ價格ニ影響ヲ及スノミデハゴザイマセヌ、今述ベマシタ如ク實ニ他ノ比例モ附キマセズ、是ガ僅少ナルモノヲ徵收スルニ附イテノ手數ハ、各自ガ所有シテ居ルツレヲ仕拂ノ場處ニ又持出ル等ノコトニ附キマシテハ實ニ手數モ掛リサウシテ茲ニ比例ヲ得ナイト云フヤウナモノデゴザイマスカラ、全ク之ヲ復活スルト云フヤウナ事柄ハ、少シク貴族院ノ速記録ヲ見マスルト、私ハ何カ解釋ニ苦シムデゴザイマスカラ、一ノ質問ヲ致スノデゴザイマス、尙ホ又此第四條ノ第三ニ書イテゴザイマス所ノ「田畑ヨリノ所得ハ前三箇年間所得平均高ヲ以テ算出スヘシ」ト云フモノハ、其意ヲ得ナイモノニ私ハ考ヘマス、是ハ政府案ノ豫算年額ニ據ルト云フモノヲ以テ當然ト認メテ居リマスガ、併ナガラ是ニ附キマシテ他ニ關係スベキノ事柄モゴザイマセウカラ、此廉モ質問ヲ致シタイト考ヘル、一應質問ノ要旨ヲ述ベマス

(政府委員大藏書記官若槻禮次郎君演壇ニ登ル)

○政府委員若槻禮次郎君 第三條ノ第二種ヲ貴族院デ復活シマシタ理由ハ、法人ノ所得ニ附イテ既ニ課稅ヲシテ本元デ課稅スルト云フコトニナル以上ハ、株券ノ所有者ニ對シテ課稅スルト同ジク、公債社債ノ利ヲ持ツテ居ル人モ矢張仕拂ノ所デ、課稅スルト云フコトガ宜イノデアル、是ハハチツトモ變リハシナイ、或ル場合ニ於テハ株券ノ如キモノヨリモ、公債社債ノ如キガ多ク課稅シテ宜イ位ノモノデアルノヲバ、衆議院ノ修正ノヤウニナツテ居ルト云フト、却ツテ反對ノ結果ヲ現サヤウナコトニナルカラシテ、既ニ第一種ノ法人ノ所得ト云フモノガ大本デ仕拂フト云フ所デ、課稅スルコトニナル以上ハ、第一種ハ矢張同様ニスル方ガ宜シイト云フコトガ、重ナル理由ニナツテ居ツバ仕ヤウニ考ヘマス、尙ホ其手數ハドウデアルカト云フニ手數ニ至リマスレバ拂フト云フ所デ差引イテ、課稅ヲ致シマスル譯デゴザイマスルカラシテ、ツレハ少額ナモノニ課稅ヲシマスコトニ附イテモ、手數ハサ程繁雜ニナイヤウニ考ヘマス、此點ハ貴族院ニ於テモ矢張手數ハ是ノミヲ第二種ニ入レタ所デ、大變手數ガ減ルト云フ譯デモナイト、斯ウ云フ論者ガアツタヤウニ考ヘテ居リマス、第四條ノ田畑所得ノミニ限ツテ三年平均ニ致シマスコトハ、田畑ハ水害トカ旱損トカ云フ隨分年ニ依ルト、所得ノナイ年ガアル位デアル、其一年ノ豫算デ課稅スルト云フト、其先キノ方ヘ至リマシテ四分ノ一以上ノ缺損ガアレバ、所得稅ノ額ヲ更正スルト云フコトガアリマシケレドモ、其水害ナリ或ハ旱損ナリノ結果ガ、四分ノ一マデノ減損ニナリマセヌト云フト、其モノハ豫算年額デ課稅セラレルコトニナルカラ、斯ノ如ク年々ノ所得ノ一定シナイモノハ、矢張三年ノ平均ヲ以テ割出シタ方ガ宜イ、斯ウ云フ說デ、貴族院デハ斯ウ云フヤウニナツテ居ルヤウニ考ヘマス、其コトヲ申シテ置キマス

(瀧松隆慶君「モウ協賛ヲ與ヘテハドウデス」ト呼フ)

○望月長夫君(十九番) 議長

○議長(片岡健吉君) 質問デスカ

○望月長夫君(十九番) 質問デスカ
短ニ此處ヲ述ベマス、此貴族院カラ回付ニナリマシタ修正ハ、隨分簡條ガ澤山ニナツテ居リマス、中ニハ直チニ同意ヲシテモ差支ナイモノモアリマスガ、其最モ主要ナルモノハ、要スルニ本院デハ第三條ノ第二種ト云フモノヲ廢シタ、貴族院ハ之ヲ復活サスト云フコトガ、一番主ナル修正ダラウト思ヒマス、此修正ハ其前ノ衆議院ノ修正ハ、委員會ニ於テモ本會ニ於テモ、實ハ異議ナク通過シタ修正デ、一目シテ此貴族院ノ復活サレタ事柄ハ、非常ニ累進ノ割合ヲ下ゲル、即チ千分ノ二十以上ヲ納メネバナラヌ人ノ所得ノ中ニ、公債ガ包含シテ居ル場合ニハ、此人ノ課税ハ大變下ゲル、サウシテ單ニ公債社債ハカリ持ツテ居ラナイ者デ、五十圓ヤ百圓ノ所得シカナイ者デモ、公債社債ハ必ズ税ヲ出サナケレバナラヌ、即チ多クノ所得ヲ持ツテ居ル者ハ、此貴族院ノ復活ニ依ツテ、非常ニ税額ヲ輕ク致シマスケレドモ、所得ノ少ナイ者ニ向ッテハ大變ニ重クナル、特ニ公債社債ヲ持ツテ居ル者ニ向ッテ、非常ニ重クナル次第デ、衆議院ノ委員會デハ、寧ロ此原案ヨリモマダ累進ノ税率ハ高クシタイト云フ意見モアリマシタノニ、貴族院ハ出テ——衆議院ノ修正ヲ政府案ノ如ク復活致シマシタノハ、非常ニ此累進ノ割合ヲ下ゲルト云フコトニナツテ、税額ガ上層ガ輕クナツテ下層ガ非常ニ重クナルト云フ結果ヲ生ズルコトニナリマスカラ、是ハ衆議院ニ於テ直チニ貴族院ノ修正、即チ復活ヲ是認スルト云フコトハ出來ルマイト思ヒマス、殊ニ委員會ニ於キマシタモ此第二種ヲ引離スト云フコトハ、直チニ公債社債ノ價格ニ影響ヲ及シ、將來發行スル公債ノ社債ニ向ッテハ、先ヅ發行ノ際ニ直段下ゲネバ應募スル者ガナイ、即チ發行者ニ税ヲ課スルト殆ド同様ノ結果ニナリマスカラ、此第二種ヲ政府案ノ如ク引離シテ置クコトハ宜シクナイト云フ趣旨デアッタ、成程貴族院ノ修正ノ通即チ政府案ノ通ニ致シマスレバ、公債社債ニ附イテハ脱税ガナイ、稅ヲ取ルニ輕便デアルト云フ一ノ利益ガアルニ相違ナイケレドモ、是トテモ從來サウ云フモノヲ別ニ引離サズシテ收税モ得ルコトガ出來タノデアアル、且ツ此衆議院ノ修正ノタメニ國庫ノ收入ノ上ニハ、別ニ影響ガナイト云フコトハ、政府委員ガ明ニ答ヘテ居ル所デ、此衆議院ノ修正ハ委員會ニ於テモ本會ニ於テモ、政府ハ實際衆議院ノ修正ニ同意サレタト云フ次第ゴザイマスカラ、貴族院ガ之ヲ復活シタノハ、要スルニ累進ノ割合ヲ下ゲヤウト云フガ、理由ノ大趣旨ニナツテ居ルト思ヒマス、以上述べマスヤウナ次第ゴザイマスカラ、此貴族院ノ修正ノ中ノ大眼目ガ、衆議院ノ議決ノ眼目ト相違致シテ居リマスカラ、直チニ貴族院ノ修正ヲ是認セズシテ、本院ヨリ委員會ヲ選ンデ、サウシテ協議會ヲ開クヤウニ致シタイト思ヒマス、ソレデ私ハ協議會ヲ開クト云フコトノ動議ヲ提出致シマス

○星亨君(二百二十四番) 是ハ討論デハナイノデアリマス、私ハ貴族院ノ修正デ宜シト考ヘル、ト云フノハ、多少ノ議論ハゴザイマセウガ、條約改正ニナル以上ハ、斯ウ云フモノノ外國人ガ持ツテ居ルノデアアル、而シテ無記名デゴザイマスカラシテ、遂ニハ公債ヲ持ツテ居ル外國人ハ、少モ所得稅ヲ拂ハナイト云フ結果ガ生ズルノデアアル、又今マデノ慣例ニ依ツテモ、日本人ノ金ヲ持ツテ居ル人間ガ、所得稅ハ大抵拂ハナイノデアアル、ナゼト云フニ公債

ハ餘計ニ持ツテ居ルケレドモ、其公債ガ無記名タルガ故ニ、先ヅ自分ノ所得トシテ利子ヲ書出サズ致シテ居ルト云フ結果ガ生ジテ居リマスカラ、即チ斯ウ云フヤウナ方法ヲ以テデモセナケレバ、彼ノ外國人トカ金持ヲ防グコトハ出來ナイノデアゴザイマスカラ、貴族院ノ通ノ修正ガ宜シト考ヘマス、第二ニハ若シ又本院ニ於テ之ヲ否決シテ、協議會ヲ開イタ結果ガ纏ラナイデ、全案ガ否決サレシマフト、此度稅ヲ取ル趣意ニモ影響ヲ生ジマスルガ故ニ、旁々以テ貴族院ノ修正ニ同意致シテ、サウシテソレデ直チニ可決致シタ方ガ宜シト思ヒマス

〔贊成々々ト呼フ者アリ〕

○板松隆慶君(貴族院ノ修正ガ簡便デ宜シト呼フ)

○鈴木總兵衛君(百四十五番) 私ハ十九番ノ說ニ同意致シマス、貴族院ノ復活ハ同意ガ出來ナイ

○議長(片岡健吉君) ソレデハ採決致シマス、貴族院ノ修正ニ同意スルヤ否ヤニ附イテ採決致シマス、貴族院ノ修正ニ同意ノ諸君ハ、起立ヲ請ヒマス

起立者 多數

○議長(片岡健吉君) 多數ト認メマス

○議長(片岡健吉君) 貴族院ノ修正通決致シマス、次ハ議事日程ノ第二、葉煙草專賣資金會計法中改正法律案、第二讀會ノ續

第二 葉煙草專賣資金會計法中改正法律案(政府提出) 第二讀會ノ續

○板松隆慶君(九十七番) 本案ハ過日二讀會ノトキ延期ニナツタノデアリマスガ、從來ノ煙草輸入ニハ稅ガ賦課シテナカッタノデアリマス、然ル處葉煙草ノ改正法案ガ出マシタノデ、今後ハ輸入稅ヲ課スルト云フコトニナツタノデゴザイマス、無論ハ協贊ヲ與ヘテ宜シイノデアリマス、讀會ヲ省略シテ、直チニ二讀會デ確定アラフコトヲ希望致シマス

〔贊成々々ト呼フ者アリ〕

○議長(片岡健吉君) 讀會省略ノ動議ガ出マシタガ、御異議ガナケレバ、讀會ヲ省略スルコトニ致シマス

〔異議ナシ異議ナシト聲起ル〕

○議長(片岡健吉君) 本案ニ附イテ御異議ガナケレバ、確定シタルモノト認メマス

〔異議ナシ異議ナシト聲起ル〕

○議長(片岡健吉君) 次ハ議事日程ノ第三、郵便條例中改正法律案、第一讀會ノ續、瀧口歸一君

第三 郵便條例中改正法律案(政府提出) 第一讀會ノ續(委員長)

○議長(片岡健吉君) 貴族院送付

○瀧口歸一君(二百八十五番) 郵便條例中改正法律案特別委員會ノ經過結果ヲ御報告致シマス、本條例中、第五條中、長サ一尺二寸幅八寸トアルノヲ長サ一尺三寸幅八寸五分ニ改ムル、斯ウ云フコトニナツテ居ルノデアリマス、是ハ此理由書ニモゴザイマス如ク、重ニ蠶卵紙ノ關係上是ガ必要ヲ認メマシ

ヲ譯デゴザイマス、斯クナラナケレバナラズ、斯クナルヲ最モ適當ト認メマ
スル譯デゴザイマス、又此百三十一條及百三十三條中ニ、爲換ノ三十圓ト云
フノヲ改メテ五十圓ニスルト云フコトデゴザイマス、是ハ段々委員會ニ於キ
マシテ反覆丁寧ニ審查ヲ致シマス、此條例設定ノ當時ニ於キマシテハ、
三十圓ヲ以テ適當トシテ譯デゴザイマスガ、追々該事ノ發達ニ連レマシテハ、
三十一年度ノ末ニ於キマシテ所ノ調査ノ上カラ見マス、此四十九圓何某
ト云フヤウナ一人當ノ比例ガ出マシテゴザイマス、故ニ之ヲ繰上ゲテ五十圓
ト、斯ウ云フコトニ改メルコトニナツテ居リマス、委員會ニ於キマシテハ、
之ヲモウツ百圓ニ致シタイ、斯ウ云フ希望ガゴザイマシタカラ、段々此コ
トニ附イテ調査ヲ致シマシタ所ガ、之ヲ百圓ニ改メルコトニ致シマスレバ、
此資本金 爲換資金ノ二十萬圓ト云フモノヲ増加シテ備ヘナケレバナラヌ
必要ガゴザイマス、三十圓ヲ五十圓ニ致シマスル事柄ニ附キマシテハ、是ハ
爲換局彼我ノ融通ヲ以テマシテ線合ヲ附ケマスルカラ、別ニ資金増加ヲ要ス
ルコトハナイガ、百圓ト致シマス別ニ二十萬圓ヲ備ヘナケレバナラヌ必要
ガ生ジテ參リマス、今日ハ僻地ニ至リマシテモ銀行或ハ出張所支店等ノ設ケ
ガ、アラユル出來テ居リマスカラ、斯ノ如クシナクテモ二十萬圓ノ資本ヲ茲
ニ増加シテ、サウシテ之ヲ百圓ニスルマデノ必要ハナイト、斯様ニ委員會ニ
於キマシテハ認メマシタノデゴザイマス、ソレデ兩條共ニ原案ヲ適當ト認メ
マシタ譯デゴザイマス、此段報告ヲ致シマス、就キマシテハ一ノ希望ヲ述ベ
タイト思ヒマス、斯ノ如ク前條申上ゲマスヤウナ極必要ナ改正デゴザイマシ
テ、至ッテ簡短ナモノデゴザイマスカラ、ドウカ讀會ヲ省略シテ、即決アラ
ンコトヲ希望致シマス

○議長(片岡健吉君) 第二讀會ヲ開クコトニ付イテハ、異議ハゴザイマスマ
イカ

(異議ナシ異議ナシノ聲起ル)

○議長(片岡健吉君) 御異議ガナケレバ、第二讀會ヲ開クコトニ致シマス
○恆松隆慶君(九十七番) 此案ハ唯今委員長カラ述ベラレマシタ如ク、多年
實業家ガ希望ヲ懷ヒテ居タル所ノ尺度ヲ廣メテ蠶卵紙ナドノ輸送ノ便ヲ計リ、
又爲換金額ヲ高メテ公衆ノ便ヲ與フルト云フノデゴザイマスカラ、直チニ二
讀會ヲ確定アラシメコトヲ希望致シマス

○議長(片岡健吉君) 御異議ガナケレバ、直チニ二讀會ヲ開クコトニ致シマ
ス

郵便條例中改正法律案(政府提出貴族院送付)

第二讀會

○恆松隆慶君(九十七番) 讀會ノ省略ヲ願ヒマス

(贊成々々ノ聲起ル)

○議長(片岡健吉君) 御異議ガナケレバ、讀會ヲ省略致シマス

郵便條例中改正法律案

○議長(片岡健吉君) 本案ニ附イテハ御異議ハアリマセヌカ

(異議ナシ異議ナシノ聲起ル)

○議長(片岡健吉君) 御異議ガナケレバ、確定シタルモノト認メマス、次ハ議
事日程ノ第四戎器火藥類取締法案、第一讀會ノ續委員長報告、磯部八五郎君

事日程ノ第四戎器火藥類取締法案、第一讀會ノ續委員長報告、磯部八五郎君

○磯部八五郎君(二百七十四番) 戎器火藥取締法案ノ委員會ノ次第ヲ御報道
致シマス、此委員會ハ去ル十二月二十六日ニ會議ヲ開キマシテ、大體ニ於キマシテハ
出席委員一同可ト認メマシテゴザイマス、就キマシテ此報告書ニモ書イテ御
同申シテゴザイマス、第十條ヲ削除スルト云フコトニ致シマシタ、此理由
ハ偶々一挺ノ鐵砲ヲ「モウ少シ大音ニ」ト呼フ者アリ、需要者ガ製造所ニ注文
ヲ致シマスルコトキニ、之ヲ販賣所ニ同スト云フコトニ致シマス、手數デ非常
ニ窮窮デアリマスカラ、此十條ヲ削除シテ更ニ命令ヲ以テ、取締ノ附クヤウニ
致サウト云フコトニ一致ヲ以テ決シマシテゴザイマス、其他ハ此報告書デ御
同申シテアリマス通、別ニ申上ゲルコトハゴザイマセヌ、此段御報告致シマス
○長谷場純孝君(十五番) 私ハ此案ニハ大體ニ於テ贊成デスガ、此案ガ此儘
ニ通過致シタナラバ、條約實施ノ上ニ大變ニ面倒ガ生シハスマイカト思ヒ
マスカラ、此場合ニ於テ質問ヲ十分遂ゲマシテ、或ハ修正ヲ提出シヤウト
思ヒマス、暫ク時間ヲ假サレンコトヲ希望致シマス、先キニ委員長カラ十條
ヲ削除サレタト云フコトデアリマスガ、是ハ此案ニ依リマス、免許ヲ受
ケタモノガ直接ニ鐵砲製造ノ者カラ他ノ人ガ買フコトノ出來ナイコトニナ
テ居リマスガ、ソレデハ窮屈デアルカラ、製造人カラ官廳ノ許可ヲ得タ者ニ誰
デモ買フコトヲ許スト云フ意味ダラウト思ヒマスガ委員長ノ報告ガ能ク分
リマセヌカラ、果シテサウ云フ意味デアリマスガ、ソレガ第一デゴザイマス、
ソレカラ他ハ政府委員ニ向ッテ尋ネテ置キタイト思ヒマスガ、一體大體ニ於
テ此案ハ宜カラウト思ヒマスガ、若シ此案ノ通刀劔ノ類マデ此案デ支配ス
ルト申シマシタナラバ、非常ニ混雜ガ生シハシナイカ、ソコデ此案ハ近來
一時流行シマシタ選舉ノタメニ、世ニ壯士ト稱ヘル仕込杖若クハ危害ヲ人ニ
與フベキモノヲ携帯シテ居ル者ヲ取締ルト云フコトガ、主ニナツテ居リハセ
ヌカト思ヒマスガ、新ニ此法律ガ成立ッテドコマデモ此法律デ支配ス
ルト致シタナラバ現ニ刀ノ研師ト云フ者モ支配シナケレバナルマイ、日本ノ
刀研ガ此法律ノ支配ヲ受クルコトニナツタナラバ、誠ニ其研師ヨリカ、或ハ官
廳或ハ警察署ノ面倒ガ、非常ニ手數ヲ要スルコトニナリハセヌカ、或ハ彼ノ九
寸五分若ハ一尺ノ短刀デモ友達同志デ御前ガ所望ナラ御前ニヤルト云フコト
ハ、吾々ノ仲間デハ随分アル、御前ハ宜イ刀ヲ持ッテ居ル、ソレヲ所望シ
イト云ヘバ、ソレハ互ノコトデ、隨分互ニヤツタリ取ツタリスル、ソレヲ一
一居ヲシ、又舊大名ノ家杯デハ、大概刀ノ二百振ヤ三百振ハ所持シテ居ル者
ガアラウト思フガ、此法律ノ成立ノ上ハ、其臺帳ト云フモノモ持ヘナケレバナ
ラヌ、總テ此法律デ支配シタナラバ、數十萬圓ヲ要サナケレバ、此臺帳ハ出
來ナイコトハ、確デアラウト思フ、ソレカラ又既ニ帝國ノ法律トナツタ以上
ニハ、七月以後條約實施後、外國人ガ此法律ノ下ニ支配サレナケレバナ
ラヌ、此法文ニハナイガ、主務省デハ其細則ヲ既ニ草稿ニナツテ居ルト云フコ
トヲ聞イテ居ルガ、事實如何ニヤ、其細則ノ中爆發火藥ハ、百貫目火藥ハ
千二百貫目カラハ、貯フルコトハ許サヌト云フコトニナツテ居ルト云フコトヲ
聞イテ居ルガ、果シテ其通デアルトシタナラバ、七月以後ハ直ニ大衝突ガ起
ル、現ニ横濱ノ根岸ノ倉庫ニハ、外國人ガ輸入シタ爆發火藥ヲ六千貫目位貯藏
シテ居ル、サウシテ日本ノ免許商ニ向ッテ、十貫目ナリ五貫目ナリヲ相當ノ手

續ヲ履シテ、賣ッテ居ルノデゴザイマス、然ルニ此爆發火藥ハ百貫目、火藥ハ千二百貫目シカ貯藏スルコトガ出來ナイト云フコトニナッタラバ、外國人ガ横濱ニ現ニ六千貫目以上モ貯藏シツ、アル倉庫ニ對シテハ、ドウ云フ法律ヲ施スカ、サウ云フコトマデモ、此法案ノ提出者ハ御調査ノ上デ爲サレタコトデアラウトハ存ジマスガ、若シサウ云フコトノ御調査ガナカッタラバ七月以後ニ此法案ヲ制定シタ、メニ外國人ト衝突ガ起リハシナイカト思フ、此中ノ第四條ニ「軍用銃砲ノ種類ハ陸軍大臣ノヲ定ム」但シ特ニ海軍大臣ノ主管ニ係ルモノニ付テハ海軍大臣ノヲ定ム」トゴザイマスガ、此理由書ニモ所謂軍用銃ト獵銃トノ區別ガ、是マデノ區別ハ判明デナイカラトシテアリマスガ、陸軍大臣ハ是ハドウ云フ區別ヲ立ツルカ存ジマセヌガ、私ハ是モ其區別ヲ定メルコトガ餘程ムツカシイコト、思フト云フモノハ既ニ其道ニ長シテ御方ハ御承知ノ通デアリマスガ、今獵銃ノ發明ハ一日ト開ケテ日本ニ輸入シテ來ル獵銃モ一日ト進歩シツ、アルノデゴザイマス、昨年ノ獵銃ハ今日ノ用ニ立タヌト云フ、軍器ノ發明ニ伴ッテ獵銃モ進歩シテ來テ、現ニ今ノ取締規則デモ、今ノ實際トハ既ニ牴觸シツ、アル、其一例ヲ舉ゲテ申シマシタナラバ、今日デモ非獵銃ヲ定メルカ、或ハ現今ノ如ク獵銃ノ名稱ヲ定メルニ、非獵銃ト軍用銃トヲ定メルト云フコトハ、餘程ムツカシイコト思フガ、非獵銃ヲ以テ軍用銃トナッタナラバ、或ハ苦情起ルベシ、今此日本ノ獵家デハ、ソナナ理窟ヲ主張スル者モゴザイマセヌデ、又ハ斯様ナ高尙ナル武器ヲ取扱フ人ハ少ナイガ、條約實施後ニ西洋人ノ中ニハ、新發明ニ係ル施條銃ヲ用フルニ相違ナイ、サウスルト軍用銃ト獵銃トノ區別ノ立テ方ハ、今日事實ムツカシイコト、思フ、其御答辯ノ如何ニ依ッテハ、私ハ第四條ニ修正ヲ加ヘタイト思ヒマスカラ、政府ノ御意見ヲ承ッテ然ル後ニ……

○政府委員(小倉久君) 議長

○議長(片岡健吉君) 政府委員小倉久君

(政府委員内務省警保局長小倉久君演壇ニ登ル)

○政府委員(小倉久君) 長谷場君ノ御質問ニ答ヘマスガ、第一ノ御問ハ委員長ニ向ッテノ御問デゴザイマスガ、第二ノ刀劍ノ取締ヲスルコトハ煩デハナイカト云フコトデアリマスガ、是ハ長谷場君ノ云ハレマス通選舉ノトキ杯ハ、最モ刀劍ノ類ガ危害品デ害ヲ爲シテ居ルノデゴザイマス、併シ選舉ノトキダケニハ選舉ノコトニ對シテ緊急勅令ヲ出シテゴザイマシテ、當院ノ承諾ヲ求メツ、アルモノガアリマスカラ、宜シウゴザイマスガ、他ノ場合ニ於テ或ハ世上ニ何カ一揆等ガアリマスレバ、サウ云フ場合ニ於テハ、矢張刀劍槍戟ト云フモノガ、危險デアルカラ、豫テ此取締ハナケレバナラヌモノト心得マシテ、政府ハ此案ノ中ニ入レマシタ譯デゴザイマス、殊ニ臺帳ヲ作ルニ附イテハ、隨分ツレハ煩デハゴザイマセウト思ヒマス、併シ煩カッタラバ、危險ナモノヲ其儘ニ置ク譯ニハ往クマイト思ヒマス、第二ノ施行規則デ火藥ノ貯藏ノ制限ヲ附ケタラバ、此七月以降ニナリマシタナラバ、外國人ガ横濱アタリデ持ッテ居ル者ガ澤山アル、ツレニ制限ヲ附ケタラバ、外國人ガ横濱スルコトデアラウト云フコトデアリマスガ、既ニ日本ノ法律ニ從フト云フコトニナッタ居リマス以上ハ、外國人ダカラト云フテモ其制限以上ノモノヲ持タセルコトハ、矢張イケナイト云フ政府ノ考デゴザイマス、施行

規則ニ定メタ所ニ依ッテ制限ヲ致シマスル考デゴザイマス、ツレカラ第三ノ軍用銃云々ノコトハ是ハ陸軍省ト協議ヲ致シマシテノ上、案ヲ立テマシタノデゴザイマス、此點ニ附イテハ陸軍省ノ政府委員ガ來テ居ラレマスカラ、陸軍省ノ政府委員カラ、御答ヲ致シマスヤウニ致シマス

○長谷場純孝君(十五番) チョット尙ホ御尋ヲ致シマスガ、勿論御説明ノ通此法律ヲ定メマシタ以上ハ、七月以後ハ外國人ト雖モ此法律ノ下ニ支配致サナケレバナラナイ、ナラナイカラ果シテ私ノ承ッタ通ニ細則ノ方デ、爆發火藥ヲ百貫目ト云フ貯藏ノ制限ヲ立テマシタナラバ、此爆發火藥ノ使用ハ今鐵道事業ハ是カラ進メテ往カナケレバナラヌト云フ今日ノ有様デアル、機運デアル、然ルニ百貫目ト云フコトヲ限ッテ置イタナラバ、僅カ百貫目バカリノモノヲ外國カラ輸入シテ、制限サレタモノヲ持ッテ來イ、其以上ハナラヌト云フコトニナッタナラバ、日本ノ事實ノ上ニ直チニ工業上ニ影響ヲ及シテ、工業ノ發達ヲ之ガタメニ止メルコトニナリハセヌカト云フ眞ガアル、ツレニ融通ノ途ガ附クトスレバ、私ハ何モ申サヌノデアルケレドモ、若シ貯藏ヲ百貫目若クバ一年ニ百貫目ト云フコトニシマシタナラバ、直チニ衝突ヲシハセヌカト思ヒマスカラ、ツレデ御尋致シマス

○政府委員(小倉久君) 分リマシタ、マダ此施行規則ノ方ハ、本案ガ通ラヌ

ノデゴザイマス、尙ホ種々ノ御注意モゴザイマス、此今刀劍ヲ是ハ致シマシタ上、定メル積デゴザイマス

○早川龍介君(二十七番) チョット序ニ私モ、是ハ其前會議ノトキニ、此法案ノ委員ニナリマシタ色ニ取調ベマシタコトモゴザイマス、此今刀劍ヲ是ハ御入レニナルト云フコトハ、餘程ハ御困難ナコトデアラウト思ヒマスカラ、二三ノ要領ヲ承リタイ、唯今長谷場君カラ追々御尋ニナリマシタ所謂研師ト云フ者ガ、矢張此規定ニ依ッテ這入リマシテ、一々研ギニ參ル時分若クバ研師ヲ呼ンデ研グト云フコトヲ一々ヤリマシタナラバ、是非非常ニ困難デアル、而シテ又之ヲ取締ルニ附イテハ、詰リ臺帳ノ面倒モセナラヌト云フコトデアリマス、此日本ニ古ヨリ打來ツタ澤山ノ刀劍ヲ皆此臺帳ニ入レルト云フコトニナッタラ、大變ナコトニナラウト思ヒマス、隨分臺帳ヲ製作スル費用モナカノ幾方、幾十萬ノ金ヲ出サヌケレバ出來ヌヤウナコトニナル、併シツレハ金ヲ厭ハズ經費ヲ掛ケテスルトシテモ、又此刀劍ガ現今世上或ハ骨董店杯ハ參ル、或ハ種々刀劍ノヤウナモノヲ賣ッテ居ル者モアル、乃至ハ刀ノ半分折レタヤウナモノヲ垂下ゲテ居ル者モアル、凡ソ何處ノ骨董屋デモ五本七本ノ刀劍ハ、皆所有シテ居ル云フヤウナ實況デアル、一方ニハ又澤山自分ノ愛玩品トシテ持ッテ居ル者モアル、即チ是ハ現今日本ノ大勢カラ見レバ、危險ト云フコトヨリ寧ロ美術トカ、古物ヲ愛スルト云フ所謂茶器ヲ愛スルガ如ク、掛物ヲ愛スルガ如キ感情ヲ持ッテ、之ヲ始終集メテ喜ンデ樂ミニシテ居ル人ガ、ドチラカト云フ刀劍家ニハ多イ方デアラ、却ッテ危險ヲ防グト云フ方ニハ、出刃庖丁鉋庖丁杯ノ方ガ、危險ナル實況ヲ呈シテ居ル、之ヲ悉ク御調ヘニナルト云フコトニナッタナラバ、唯私ハ前途杞憂スルノハ、非常ナ警察ニ御手數ガ掛ッテ、チョット良イ刀ヲ得タカラ、一本君ニヤラウト云フヤウナ者マデモ、悉ク今小倉君ノ云ハレタヤウニ、一々警察ノ手ヲ經ル

ヤウナコトニナリ、又神社寺院ニ古カラ寄附ニナリテ居マヌヤウナモノ、是モ亦悉ク取締ラナケレバナラヌト云フコトニナリ、餘程是ハ煩勞極マルコトニナラウト思ヒマスデ、私ハモウ少シ之ヲ御調ニナリテ、日本ノ刀劍ノ數ガ凡ソ何程アルト云フ位ニマデ御調ニナリテ、詰リ臺帳等ノ經費モ御見積ニナリタナラバ宜カラウト思ヒマス、兎ニ角ハ餘程ノ面倒ナ問題ト存シマスガ、現今鑑トカ鉦トカ云フモノト共ニ垂下ゲテアル刀ニ類似シタヤウナモノマデ取締ッテ、一々臺帳ヲ設ケナケレバナラヌト云フコトニナルノデゴザイマセウカ、其邊ヲ一應承リマス

○政府委員(小倉久君) 先ゾ一朝事アツタトキニ、ソレヲ用フレバ危險デアルト云フヤウナモノハ、悉ク取締ル積デアアルノデゴザイマス

○早川龍介君(二十七番) 尙ホチヨット御尋致シマスガ、危險デアルト致シマスレバ、所謂彼ノ皇族トカ華族ノ如キ愛玩ノニ五百本モ七百本モ持ッテ居ル者ハ、危險ト云フヨリモ寧ろ樂ミノ方ガ多イ、之ヲサウ云フ手數ヲ掛ケタナラバ、所有者モ餘程困難スルダラウト思ヒマスガ、御取締ニナルトスレバ、面倒デモ手數デモ、ソレヲ御取締ニナル御積デゴザイマス

○政府委員(小倉久君) 左様デゴザイマス

○早川龍介君(二十七番) サウスルト矢ノ根トカ云フヤウナモノハ、兎器ノ中ニ這入リマスガ、隨分古イ矢ノ根ノ中ニハ、槍トシテ使ヘバ使ヘルヤウナモノモアル、是等ハ餘程御困難ト思ヒマスガ、杞憂ノ餘リ御尋シテ置キマス

○政府委員(小倉久君) 矢ノ根デモ槍ニ類シテ槍ノ效用ヲ爲スモノハ、矢張槍戰ノ類デ取締ル積デアリマス

○早川龍介君(二十七番) 其鑑定ハ矢張警察官ガ、鑑定スルノデアリマスガ

○政府委員(小倉久君) ドウモソレヨリ外致方ハアルマイト思ヒマス

○板松隆慶君(九十七番) 此案ハ直チニ二讀會ヲ開クコトヲ希望シテ居リマレタケレドモ、長谷場君ノ如キ遊獵ノ好きガアツテ、餘程火藥ノコトハ面倒ラシイ質問ガアリ、又早川君ノ如キ質問モゴザイマス、大體ハ固ヨリ賛成デゴザイマスガ、二讀會ヲ開クト云フコトダケニ今日ハ御止メアラントコトヲ希望致シマス

○議長(片岡健吉君) 本案ノ、二讀會ヲ開クヤ否ヤニ附イテ採決致シマス、御異議ガナケレバ、二讀會ヲ開クコトニ致シマス

(「異議ナシ異議ナシ」ト呼フ者アリ)

○議長(片岡健吉君) ソレデハ二讀會ヲ開クコトニ致シマス、次ハ議事日程ノ第五、臺灣銀行補助法案、第一讀會ノ續

第五 臺灣銀行補助法案(政府提出)

第一讀會ノ續(委員長報告)

○多田作兵衛君(七十一番) 極簡短ナ報道デゴザイマスガ、是ヨリ致シマス、臺灣銀行補助法案ニ於キマシテハ、滿場一致原案ヲ賛成スルコトニナリマシタ、理由ヲ簡短ニ申述ベテ置キマス、臺灣銀行法ハ昨年ノ三月ニ發布ニナリマシタ、其後政府ニ於テ創立委員ヲ任命セラレマシタ、然ルニ金融ノ都合ニ依ッテ今日マデ設立ガ遅バヌノデゴザイマス、故ニ此法案ヲ施行スルニ至レバ、設立速ニ出來ルト云フコトヲ政府委員ガ明ニ責任ヲ負ウテ答辯セラレタ譯デゴザイマス、臺灣銀行ノ必要ト云フコトハ、喋々要シマセヌ譯

デゴザイマスガ、本案ヲ可決致シマシテ、速ニ臺灣銀行ノ設立ノ希望スル譯デゴザイマス、簡單ナル法案デゴザイマスル故ニ、直チニ確定セラレンコトヲ希望致シマス

○野間五造君(百九十八番) 議長

○議長(片岡健吉君) 質問デスカ

○野間五造君(百九十八番) 私ハチヨット政府委員ニ御明言ヲ願ッテ置キタ

イコトガゴザイマス、此銀行ノコトニ附キマシテハ、先日私ガ質問書ヲ提出致シマシタ中ニモ、申上ゲテ置キマシタコトデゴザイマスガ、且ツ其際ニモ申上ゲタ如ク、多分出來ナイデアラウト云フ考ヲ申上ゲテ置キタ所ガ、唯今委員

長ノ御報告モアリ、政府ノ方デハ必ズ成立セシムルト云フ御意向ダサウデアリマスガ、私ハチヨット政府委員カラ、御明言ヲ願ッテ置キタイコトガアル、

ソレハ何デアアルカト云ヘバ自分ガ先日申上ゲタ如ク、此銀行ノ金ト云フモノハ臺灣デ使フノデハナイ、臺灣デハ到底是ダケノ金額ヲ使ヒ切レナイデア

ルカラ、其金ノ三百萬圓ト云フモノ、言換ヘレバ殆ド八百萬カラノ融通貨幣ヲ出スコトノ出來ル銀行ガ、臺灣デ何ノ仕事ヲスルカト云フコトヲ先日ノ質問

デ御尋ヲシテ置キタ所ガ、ソレモ出來ルト云フ御話デアアルガ、自分ノ考デハ多分此ノ金ト云フモノハ、逆返リヲシテ日本デ働ク金デハナイカト云フ虞

ヲ持ッテ居ルノデ、名ハ臺灣銀行ト言ヒナガラ、其實ハ無利息ノ三百萬圓ノ金ガ、内地デ運轉スルデハナカラウカト云フ考ヲ持ッテ居リマス、竝ニ近頃

聞ク所ニ依ルト、本店ヲバ日本ニ置クト云フヤウナ噂ヲ聞イテ居ル、サウスレバ其臺灣ト云フ名前ヲ冠セテアルケレドモ、其實ハ無利息ノ三百萬圓ノ金ヲ

日本デ或ル筋ノ者ガ使フト云フ結果ニナルデハナカラウカト云フ考ヲ持ッテ居ルノデアアルカラ、其本居ト云フモノハ全體ドコニ置クノデアアルカト云フコ

トヲ豫メ御明言ヲ願ッテ置キタ、ソレカラモウ一ツハ、日清銀行ト云フモノ

ト此銀行ハ合併ヲスルト云フ噂ガアルノデアアル、ソレハ創立委員ノ中ニモ其意見ヲ持ッテ居ルト云フコトデアリマスガ、若シサウスレバ今議決シテ

置イデモ、又此日清銀行ト云フモノ、合併ノ場合カラ、再ビ臺灣鐵道會社ノ如ク延期ニ延期ヲ重ネテ遂ニハ又一種特別ノ法案ト爲ッテ現レテ來ハシナイ

カト云フ考ヲ持ッテ居ルカラ、之ヲ第二番ニ御開キ申シタ、ソレカラ第三番ニハ、此銀行ガ若シ破産ヲスル場合ニ、本當ニ働イテ上海香港「バンク」

ヲ競争ヲシテ、本當ニ働ヲヤル日ニナルト、利益ガナイト云フコトハ、今日私ハ明言シテ憚ラナイノデアアル、アノ金利ノ安イ銀行ト、此日本ノ高イ金利ヲ

以テ、一方ノ安イモノト競争スルノデアアルカラ、ドウシテモ敗ヲ取ルモノト覺悟シナケレバナラヌ、サウスレバ此競争ノ結果破産ヲスルト云フナラバ、此責

任者ハ誰デアアルカト云フコトヲ伺ッテ置キタ、ソレカラ第四番ニハ、委員

會デモ政府委員カラ御話ガアツタガ、多分近日ニ法律案トシテ出テ來テ、此昨年カ一昨年議決ニナッタ臺灣銀行法案ノ一部分ヲ改正スルト云フコトニハナ

テ居ルヤウニ伺ヒマシタケレドモ、尙ホ明言シテ置キタイノデアアル、ト云フモノハ五圓紙幣デ出スコト云フコトデアアルケレドモ、向フノ實地ノ運轉ト云フモノハ五圓ト云フ高イ大金デハ、融通ト云フモノガ實際ニ於テ不必要デア

○政府委員大藏省理財局長松尾臣善君演壇ニ登ル

○政府委員(松尾臣善君) 一番始ノハ何デゴザイマス、始ノヲツイ開落シマシタガ

○野間五造君(百九十八番) 始ノハ此三百萬圓ノ金ト云フモノハ、恐ラクハ内地ニ回リ返ッテ來テ、内地デ之ヲ使フ金ニナリハシナイカト云フ考デアアルカラ、丁度ソコヘ持ッテ來テ、今噂ニ依レバ本店ヲ内地ニ置クト云フコトデアアルカラ、丁度私ノ杞憂ガ全ク事實ノ如ク思レルカラ、ソレデ此本店ハ臺灣ニ御置ナサルノデアアルカ、内地ニ御置ナサルノデアアルカト云フコトヲ豫メ伺ッテ置キタイ

○政府委員(松尾臣善君) 臺灣銀行ノ條例ニ、本店ハ臺灣ニ置クト云フコトガ極ッテ居リマスカラ、之ヲ内地ニ置クト云フコトハ出來マセヌノデゴザイマス、條例ノ上ニ於キマシテ、ソレカラアチラノ三百萬圓貸シタ、即チ其資本金ハ内地デ使フダラウト云フ御問ノヤウデゴザイマシタガ、是ハ臺灣デ使用スル見込ナンデゴザイマス、ソレカラ臺灣銀行ガ成立ガ出來ルデアラウカ、恐ラクハ出來マイト云フ御疑ノヤウデゴザイマシタ、是ハコレダケノ補助ヲ與ヘラレタナラバ、設立ハ出來ル見込ナンデゴザイマス、ソレカラ何デゴザイマシタカ

○野間五造君(百九十八番) 日清銀行……

○政府委員(松尾臣善君) 日清銀行トノ關係ハ、條例ノ上ニ於キマシテハ一向關係ノナイコトデゴザイマスカラ、之ヲ合併スルコト云フヤウナコトデ、何カ別ナ條例外ノコトヲシマスレバ、又法律ヲ提出シテ協賛ヲ仰ガナケレバナラヌ譯デスガ、是モ法律ノ上ニ明デアラウト思ヒマス

○野間五造君(百九十八番) 御忘ナレバ、其次ハ此銀行ガ、一圓銀貨デ出サズニ五圓銀貨デ出スト云フコトデアアルカラ、一覽拂ノ手形ハ愈以テドウ云フ方針デアラウト云フコト、其次ハ若シ破産シタ場合ニハ、此銀行ノ責任者ハ官選ニナラヌ頭取、其頭取一人デアアルカ、株主ニ對シテハドウ云フ風ナ責任ヲ持ッ者デアアルカト云フコトヲ聞クノデス

○政府委員(松尾臣善君) 一覽拂ノ手形ハ、是ハ五圓ト今ハゴザイマスケレドモ、不便デゴザイマスカラ、一圓ノ手形ノ出來ルヤウニ致シタイト存シマシテ、折角法案調査致シテ居リマスカラ、遠カラズ此議會ニ提出シテ御審議ヲ願フコトニナラウト存シマス、ソレカラ破産シタ場合ト云フコトハ、是ハ商法等ニ明デアザイマスカラ、私ヨリ申上グル必要ハナカラウト思ヒマス

○恆松隆慶君(九十七番) 此案ニ附キマシテハ野間君カラ、四箇條ノ質問ガ出マシタガ、マダ質問ガ出ルカモ知レマセヌガ、大勢ハ定ッテ居リマス、又一條ニ條三條ト云フ簡單ナモノデアリマス、委員會モ全會一致ヲ以テ協賛ヲ與ヘタノデアリマスカラ、ドウカ議會省略デ可決セラレンコトヲ希望致シマス

○議長(片岡健吉君) 先ッ第二議會ヲ開クヤ否ヤニ附イテ採決致シマス、ソレデハ議會省略ノ動議ガ出マシタカラ、三分ノ二以上ノ賛成ガゴザイマスレバ、議會省略ニ致シマス

○議長(片岡健吉君) 御異議ガナケレバ、議會ヲ省略スルコトニ致シマス

臺灣銀行補助法案

確定議

○議長(片岡健吉君) 御異議ガナケレバ、原案可決ト認メマス、ソレデハ原案ハ確定セラレタモノト認メマス、次ハ議事日程第六、明治二十九年法律第六十三號中改正法律案、第一議會ノ續委員長ノ報告——石黑瀧一郎君

第六 明治二十九年法律第六十三號中改正法律案(政府提出貴族院送付) 第一議會ノ續(委員長)

○石黑瀧一郎君(百四十一番) 二十九年法律第六十三號中改正法律案ノ特別委員會ノ經過及結果ヲ報告致シマス、特別委員會ニ於キマシテハ審查ノ末、本案ハ之ヲ可決スベキモノト決定ヲ致シマシタ、審查ノ手續ニ於キマシテハ、此法案ハ極メテ簡單ナモノデアリマシテ、二十九年第六十三號ノ第六條ニ「此法律ハ施行ノ日ヨリ滿三年ヲ經タルトキハ其效力ヲ失フモノトス」斯様ナ正條ガアリマスルモノヲ、之ヲ改正致シマシテ「此法律ハ明治三十五年三月三十一日迄其效力ヲ有ス」ト云フコトニナルノデゴザイマス、斯ノ如ク事柄ハ極メテ簡單デアリマスルケレドモ、此法律ノ性質ノ上カラ申シマスルト云フト、臺灣總督府ニ向ッテ其管轄區域内ニ於テ、法律ノ效力ヲ有スル命令ヲ發スル權限ヲ付與シタルノデゴザイマシテ、即チ立法權ノ一部ヲ委任シタルノデゴザイマスルカラ、是ガ憲法上ノ關係或ハ斯ノ如ク特權ヲ永ク行政官ニ委任致シテ置クコトハ、却ッテ危險デアアル必要デアルト云フ此二ツノ原因ヨリ致シテ、寧ロ斯ノ如キ法律ハ永ク存在スルコトヲ好マヌ、故ニ早ク期限ノ到來スルヲ俟ッテ消滅ニ歸セシムルガ宜イト云フ意見モアリマシタデゴザイマスガ、尙ホ十分取調ベテ見マスルト、明治二十九年ノ當時ニ之ヲ憲法ニ抵觸セザルモノトシテ、帝國議會ヲ通過致シマシタ法律デゴザイマスルシ、且ツ臺灣目下ノ狀況ヲ見マスレバ、最初此權限ヲ必要ナリトシテ付與シタ當時ト敢テ其事情ニ於テ異ナル所ハナイ、今日モ尙ホ依然トシテ之ヲ必要トスル事情ノ存在シテ居ルモノデアルト認メマシタガ故ニ、委員會ニ於キマシテハ此原案ヲ可決スベキモノト決シマシタ次第デゴザイマス、此段御報告ヲ致シマス

○恆松隆慶君(九十七番) 是ハ簡單ナ問題デゴザイマス、成ル程事柄ハ重ウデゴザイマスガ、矢張議會省略デ確定致シタガ宜カラウト思ヒマス

○花井卓藏君(二百四十一番) 反對ノ通告ヲシテ置キマシタ

○議長(片岡健吉君) 花井卓藏君

○花井卓藏君(二百四十一番) 私ハ此問題ニ附キマシテハ、二箇ノ理由ヲ以テ反對ヲ致スノデゴザイマス、唯今委員長ヨリ致シマシテ、私ガ大體ニ於テ申上グベキ反對ノ理由ノ端緒トモ名附クベキモノヲ御報告ニ相成ツタデゴザイマス、併ナガラ私ハ此問題ニ附キマシテハ、精密ニ論ジテ諸君ノ教ヲ乞ヒタイト云フ考デアザイマス、此問題ハ第九議會ニ於キマシテ市島君高田君或ハ星君鳩山君重岡君等ノ御議論モゴザイマス、或ハ質問等モゴザイマシテ、其議論質問ノ中ニ私共ノ議論セント欲スル事柄モ稍々含ンテ居ルノデゴザイマスガ、私ガ是等諸君ノ議論ノ中ニ於テモ亦質問ノ中ニ於キマシテモ、今回貴族院ニ於テ論セラレマシタ議論ノ中ニ於キマシテモ、此重要ナル問題

ニ於テハ尙ホ憲法上ノ問題ト云フモノヲ幾多モ殘シテ居ルデアラウ、漏レテ居ルデアラウト云フノ考案ヲ持ッテ居ルノデゴザイマス、故ニ是等ノ諸君ガ御議論ニナリマシタ事柄ハ、私ハ重テ述ベヌノデス、唯其足ラザル點ニ附イテ私ノ卑見ト云フモノヲ述ベマシテ、サウシテ諸君ノ教ヲ乞ヒタイト云フ考ヲ持ッテ居リマス、二箇ノ理由ト申シマスルモノハ、先ヅ第一ニ法理論トシテ此六十三號ノ法律ト云フモノハ、憲法上許スベカラザルモノデアアル、極言致シマスレバ憲法違反デアアル、ツレカラ第二ノ理由ハ、事實論——事實上ノ議論デアアルマス、事實上ノ議論ト致シマシテハ、今日ノ如キ當局者ニ斯ル立憲ノ變例ヲ許ス事柄ハ、甚ダ危險デアアル、アブナイ、斯ウチノ理由デゴザイマス、先ヅ第一ニ憲法上許スベカラザルモノデアアルト云フ事柄ニ附イテ、卑見ヲ述ベヤウト思フノデアアルマス、帝國憲法ト云フモノ、第五條ト云フ竝ニ第六條ト云フモノヲ見マスレバ、立法權ト云フモノハ、元首即チ畏レ多クモ天皇陛下ト立ニ帝國議會ト云フモノガ、共同ヲシテ有スベキモノデアアルト云フ事柄ハ、明カニナリ、テ居ルノデゴザイマス、即チ立法權ト云フモノハ、憲法ノ上カラ見マスレバ、元首竝ニ議會ノ外ニハ何人モ有スルコトガ出來ナイモノデアアル、而シテ帝國議會ガ立法ノ權ニ參與致シマスルコト云フ事柄ハ、一面ヨリ申シマスレバ憲法上ノ權利ノ如ク見ユルモノデアアル、サリナガラ憲法ノ五條ト云フモノヲ能ク注意シテ讀シテ見マスルコトデアアル、一面ヨリ見マスレバ、又帝國議會ガ必ズ協賛ヲセザルベカラザル所ノ義務ガアルデアアル、ツレデゴザイマスカラシテ、立法ニ參與スル所ノ權利ヲ帝國議會ハ義務トシテモ持ッテ居ルノデゴザイマスガ故ニ、濫リニ之ヲ拋棄シテ人ニ委ネルハト云フヤウナ事柄ハ、決シテ出來ナイコトダラウト思フノデアアル、言葉ヲ換ヘテ申シマスレバ、帝國議會ガ憲法上當然有シテ居ル所ノ此立法參與ノ權ト云フモノハ、他ノ行政官ト云フモノニ讓渡シ委任ヲスルコト云フヤウナ事柄ガ、頻頻トシテ繼續致シマシタラバ、實質上ニ憲法中止デアアルト云フ事柄ガ、斷言ガ出來ルデアラウト存シマス、而シテ此六十三號ト云フ法律ハ如何ナル法律デアアルカ、立法ノ委任ト云フモノヲ臺灣總督ト云フモノニ全然擧ゲテ與ヘルヤウナ法案デアアル、勿論年限ハゴザイマス、年限ハゴザイマスガ、或ル年限間ト云フモノハ、元首ナキナリ、議會ナキナリ、唯臺灣總督ト云フモノガ、アノ領土ニ於テハ自由自在ニ立法權ヲ持ッテ居ル所ノ事柄ニ相成ルノデアアル、併ナガラ帝國憲法ハ、斯ノ如キ例外ノ場合ト云フモノヲ認メテ居ナイノデアアル、帝國憲法ノ一條ヨリ末條ニ至リマスマデ讀シテ見マシテモ、此大イナル此大切ナル所ノ立法ノ權限ト云フモノヲ他ノ權力ニ委ネルコト云フ事柄ハ、決シテ認メテ居ナイノデアアル、重大ナル立法ノ權ハ、憲法ノ條規ニ依ッテ規定セラレテ居ルモノデゴザイマスガ故ニ、若シ是ヲシテ他ニ委ネル事柄ヲ許スナラバ、同ジク憲法ノ條規ヲ委ネ、バナナラマノデアアル、明文ヲ委ネ、バナナラマノデアアル、併ナガラ帝國憲法ノ全篇當テ委任立法ト云フコトヲ許ス明文ハナイノデアアルマス、然ルニ此六十三號ト云フモノハ、其性質ノ上ニ於テ立法ノ全權ト云フモノヲ臺灣總督ニ委任スルコト云フ事柄ニ相成ルノデアアル、抑法律ノ規定ニ依ッテ許サレテ居ルモノデゴザイマセヌ以上ハ、何等ノ事柄ト雖モ他ノ權力ニ委ネルコトガ出來ナイト云フノガ、憲法ノ正當ナル解釋デアアル、憲法ノ第十八條カラ二十九條ニ至リマスマデノ規定ト云フモノハ、悉ク法律ノ規定ヲ待タネバナラマスト云フコトデアアル、臣民ノ權利義務ニ關ス

ル章ト云フハ、全篇法律ノ規定ヲ待タナケレバ、何人モ手ヲ出スコトガ出來ヌ事柄ニ儼トシテ規定セラレテ居ルノデアアル、然ルニ此法律ノ規定ヲ待タナケレバナラマモノヲ六十三號ヲ以テ現在臺灣ニ居ル所ノ總督竝ニ其幕僚ヲ信任シテ、帝國議會ガ當然有スベキ議權ヲ總テ捧ゲルト云フコトニ至ッテハ、實ニ憲法ノタメニ私ハ遺憾ニ堪ヘヌノデゴザイマス、勿論命令權デゴザイマスルコト云フヤウナモノハ、天皇ノ大權ニ屬スベキモノデアアル、議會ノ協賛ヲ經ベキ性質ノモノデナイ、是等ノモノハ勿論他ノ行政官吏ニ委任スルコトハ出來ルノデアアル、ツレ故ニ憲法ニ命令權ハ委任シテ宜シイト云フ事柄ヲ明文ノ中ニ現ハシテ居ルノデアアル、即チ第九條ニ斯ウ云フコトガゴザイマス「天皇ハ法律ヲ執行スルタメニ又ハ公共ノ安寧秩序ヲ保持シ及臣民ノ幸福ヲ増進スルタメニ必要ナル命令ヲ發シ又ハ發セシム」ト書イテアル、發セシムト云フノデゴザイマスカラ、是ハ委任ヲ許スト云フ條文ナノデゴザイマス、ツレデゴザイマスカラシテ、斯ル例外ノ規定ガ他ノ場合ニゴザイマスカラ、本案ノ如キ場合ニモ矢張例外ノ規定ガナイ以上ハ、許スベカラズト解釋スルノガ當然デアラウト思フ、若シモ臺灣ノ總督ヘ許スノガ宜イト云フナラバ、若シ議會ニシテ協賛セバ、府縣知事部長杯モ斯ルコトガ出來ルコトナリマシテ、下級行政官廳ガ自由自在ニ立法ヲ企テ、モ差支ナイト云フ論結ニナラヌケレバナラヌノデアアルマス、斯ノ如キ事柄ハ實ニ憲法ノ解釋トシテハ、斷然許スベカラザルモノデアアラウト思フノデアアル、是ニ附キマシテモ色々反對ノ理由モゴザイマセウ、併ナガラ反對ノ理由ト云フモノハ、サウサセナケレバ不利デアナイカト云フ事柄ニ過ギナイノデアアル、學者ハ大イニ論ジテ居リマスガ、唯不利デアナイカト云フコトニ歸著スルヨリ外ニ一ノ材料モナケレバ何モナイノデアアル、ツレデアリマスカラ、是等ノ反對論ヲ私ハ駁スルコトヲ止マフス、唯終リニ此第一ノ論ヲ結ブニ當ッテ申上ゲタイコトハ、勿論此問題ト云フモノハ總テ私ノ主張スルガ如キ議論ニハ相成ラヌケレドモ、サリナガラ十三號ト云フモノガ、全然憲法上適法ノモノデアナイ、或ハ疑問デアラウト云フ事柄ハ、委員會ニ於キマシテモ反對論者モ明言セラレタノデアアル、既ニ疑問ニ屬シテ然ル以上ハ、憲法上ノ疑問ニ屬スベキ事項ト云フモノハ、能フベクンバ避ケルト云フノガ宜カラウト思フ、又避ケテ差支ナイノデアアル、帝國議會ハ一年ニ次開ケルノデアアルマスカラ、其間立法ノ事柄ガ待テナイト云フ事柄ハ、私ハ決シテナイト思フノデアアルマス、故ニ此點ニ附キマシテハ深ク諸君ノ御贊成ヲ煩シマシテ、サウシテ政府ノ御熟考ヲ願ヒタイト云フ考案ヲ持ッテ居ルノデアアルマス、ツレカラ第二ノ理由ヲ簡短ニ申シマスルガ、事實ノ論トシテ一言シテ置キタイノデアアル、假ニ私ノ議論ガ相立ヌトシテモ、立法ノ委任ト云フ事柄ハ、免ニ角憲法上ノ變例デアアルト云フコトハ疑ナイノデアアル、正則デアナイト云フコトハ疑ナイノデアアル、變例デアアル、正則デアナイノ場合ニ已ムヲ得ザル事柄、又緊急ナル場合ニ已ムヲ得ザル事情モゴザイマセウ、サリナガラ之ヲ永遠ニ繼續セシメテ效力ヲ有セシムルコト云フニ至ルコト云フ御議論ガゴザイマス、サリナガラ政府ハ三年ト云フ期限ガ切ッテ間ニ、如何ナル立法ヲ企テタカ、如何ナル臺灣統治ニ關係ヲ有スル法律命令ヲ出シタカト、政府委員ニ問ヒマスレバ、政府委員ハ明治二十九年

ヨリ致シマシテ、此議會ノ開ケルマデ出來マシタ所ノ法律ト云フモノハ、一年ニ五六件乃至總計四十件外ナイト云フコトデアアル、此四十件ノ中ニ附キマシテモ二三ノ件ト云フモノハ、立ロニ消滅セシメ改正セシメ、或ハ法律トシテハ效力アルヤ否ヤト云フ大問題ナル所ノ此法院條例ノ如キニ至リマシテハ、高野問題ト同時ニ取消シテシマツテ、更ニ變シタモノヲ以テ來ルト云フヤウナ立法上ノ能力ヲ持ツテ居ル人デアアル、斯ウ云フ人ニ立法ノ變例ニ屬スル重大ナル權限ヲ持ツテ置イテ、サウシテ理由書ニモ書イテアル通、臺灣統治上違算ナキ立法ガ向フ三年間ニ出來ルヤ否ヤト云フコトハ、私ハ甚ダ疑フデハナイ、斷然出來ヌコト、思フノデアアル、殊ニ此法律ト云フモノヲ當局者ト云フモノガデス、如何ニ取扱フテ居ルカ、法律ト同ジク效力ヲ有セシメテ居ルカ否ヤト云フコトニ附キマシテモ、私ハ大ニ疑フノデアアル、例ヘバ高野事件ハ如何デゴザイマスルカ、是ハ法律ノ效力ヲ有セシムルト云フコトデゴザイマシタケレドモ、議會モ其積デ協賛シタノデゴザイマスケレドモ、併ナガラ總督府ノ當局者ハ、此法院ヲ以テ裁判所ト見テ居ルカ、又判官ヲ裁判官ト見テ居ルカ、憲法上ニ於テ——是等ノコトニ向テハ、憲法上ノ裁判所デ野ト云フ人ニ故ナク非職ヲ命ジタト云フ事實モアルノデス、勿論當局者ニシテ法律ト同ジク效力ヲ與ヘタモノヲ其通ニ働カシテ參リマシタナラバ、私モ異議ハアリマセヌガ、當局者自身ト云フモノガ、之ヲ法律ト同然ニ取扱フテ往クコトガ出來ナイノデアアル、折角法律ト同ジク效力ヲ與ヘタモノヲ其通用井テ居ラヌノデアアル、其用ヒテ居ナイ人間ニ永ク久シキ間ニヤツテ置クト云フコトハ甚ダ危險デアアル、向フ三年ノ内臺灣統治上ノ事業ト云フモノガ、完全スルヤ否ヤト云フコトハ疑デアアル、明治二十九年ヨリシテ今日ニ至ルマデ無用ノ法律ヲ四十件、而モ三ツ四ツハ急ニ消滅セシメテハ、殘ルモノハ四十件——人間ハ同ジ人間ニ三年ノ期限ヲ與ヘマシタ所デ、此當局者ガ理由書ニ書イテアルダケノ仕事ガ出來得ベキヤ否ヤト云フコトハ、實ニ疑ハシイコト別、又戰後新領土ニ屬シテ居ルト云フ所ハ世界ノ視線ヲ注グ所デナケレバ格別、又戰後新領土ニ屬シテ居ルト云フガ如キ大切ナル關係ヲ持ツザル所ニアラズトセバ格別、臺灣ト云フ問題ハ法律ノ上ニ於テハ、今世界ノ視線ニ上リ、國際ノ關係ニ於テ容易ナラザル場所デアアル、此處ニ當局者ノ不安心ナル危險ナル立法ノ能力ノナイ人間ニ、斯ノ如キ重大ナル權限ヲ與ヘテ置クト云フコトハ、丁度頭ニナキ所ノ二尺ノ童子ニ白刃ヲ授ケテ置クト同ジコトデアアル、故ニ此六十二號ノ法律ト云フモノハ、幸ニシテ來ル四月一日ヲ以テ委任權限ノ盡クルノヲ幸ニ最早許スベカラザルモノシテ、臺灣ノ問題ニ附キマシテハ、一年二次ニ開ケル所ノ議會ニ提出シテ、サウシテ臺灣統治ノ實ヲ舉ゲ、世界視線ノ注ク所ニ向ヒマシテ、十分ニ第三者即チ外國人ヲシテ信ヲ置カシムル程度ニ至ラシムルコトヲ希望スルノデアアリマス、甚ダ十分ニ理由ヲ盡シマセヌデ、自分ニ於キマシテモ非常ニ簡短ニ感シテ居リマスガ、是デ十分論旨ダケハ盡キテ居ルト思ヒマスカラ、是デ止メマス

○星亨君(二百三十四番) チョット質問ガアリマス、サウスルト今ノ演說者ハ、今マデ許シタノガ惡イト云フノデ、議會ガ宜クナイト云フ譯デアリマスカ

○花井卓藏君(二百四十一番) ツレハ第一ノ議論ニ於キマシテハサウデ、第二ノ議論デハ最早止メテ宜イト云フ、斯ウ云フ意見デアリマス

○西村淳藏君(六十二番) 討論終結ノ動議ヲ提出致シマス

○議長(片岡健吉君) 採決ヲ致シマス、此案ニ附イテ第二讀會ヲ開クヤ否ヤノ採決ヲシマス、本案ノ二讀會ヲ開クニ同意ノ諸君ハ、起立ヲ請ヒマス

起立者 多數

○議長(片岡健吉君) 多數ト認メマス、第二讀會ヲ開クコトニ決シマス

○恆松隆慶君(九十七番) 直チニ御開キニナツテ、二讀會デ確定ナランコトヲ希望致シマス

(贊成々々ト呼フ者アリ)

○議長(片岡健吉君) 恆松隆慶君カラ、直チニ第二讀會ヲ開キ讀會ヲ省略シテ確定シタイト云フ、動議ガ出マシタガ、御異議アリマセヌカ

明治二十九年法律第六十三號中改正法律案 確定讀

(異議ナシ異議ナシト呼フ者アリ)

○議長(片岡健吉君) 御異議ガナケレバ、確定シタモノト認メマス

○島田三郎君(二百五十番) 營業稅ノ委員會ヲ開キマスカラ、退席ノ許可ヲ請ヒマス

○議長(片岡健吉君) 島田三郎君カラ、營業稅ノ委員會ヲ開キタイト云フコトデアリマスガ、許可シテ御異議アリマセヌカ

(異議ナシ異議ナシト呼フ者アリ)

○議長(片岡健吉君) 次ハ議事日程第七、商法修正案第一讀會、議案ノ朗讀ヲ省略致シマス

第七 商法修正案(政府提出) 第一讀會

(政府委員東京帝國大學法科大學教授法學博士梅謙次郎君演壇ニ登ル)

○政府委員(梅謙次郎君) 此商法修正案ハ前期ノ議會ニ提出ヲ致シマシテ、貴族院ヲ通過シテ本院ニ回リマシテ、本院ニ於テモ委員會ニ於テモ可決致シマシテ、議場ニ提出ニナツテ第二讀會ヲ開クベキモノト決シマシタケレドモ、遂ニ之ヲ議了スルノ邊ガナカツタノデアリマス、ソレガタメニ明治二十三年ニ發布ニ相成リマシタル舊商法、即チ修正ヲ必要トスルト云フノデ、延期ニナツテ居ツタ商法ガ、直チニ施行セラレ、コトニ相成リマシタノデアリマス、就キマシテハ此缺點アリト既ニ議場ニ於テ認メラレマシタ商法ハ、一日モ早く改テ缺點ノ少キ法典ト爲ラナクツテハナラヌノデアリマス、ドウゾ此度提出ニナリマシタ商法修正案ヲ速ニ確定セラレンコトヲ希望致シマス

○議長(片岡健吉君) 格別御質問ガナケレバ、議事日程ノ第八、特別委員ノ選舉ニ移リマス

第八 右讀案ノ審查ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉

○恆松隆慶君(九十七番) 是ハ唯今政府委員ガ述べラレマシタ通、前議會ニモ出タ問題デゴザイマスカラ、ドウカ是ハ九名ノ委員デ宜カラウト思ヒマスカラ、議長ノ指名ヲ希望致シマス

○議長(片岡健吉君) 恆松隆慶君ノ動議ニ異議アリマセヌカ

(異議ナシ異議ナシト呼フ者アリ)

○議長(片岡健吉君) 御異議ガナケレバ、九名ノ特別委員ヲ議長ガ指名スルコトニ致シマス
○中村榮助君(二百七十番) 不動産登記法案ノ委員會ヲ開キテウゴザイマス
○議長(片岡健吉君) 今中村榮助君カラ、是ヨリ不動産登記法案ノ委員會ヲ開キテイト云フコトデアリマスガ、御異議アリマセヌカ
(異議ナシ異議ナシト呼フ者アリ)
○議長(片岡健吉君) 次ハ議事日程ノ第九、國有林野法案第一讀會、議案ノ期讀ヲ省略シマス

第九 國有林野法案(政府提出) 第一讀會

國有林野法案

第一條

此ノ法律ニ於テ國有林野ト稱スルハ國ノ所有ニ屬スル森林原野ヲ謂フ

第二條

國有林野ニシテ國土保安又ハ國有林野ノ經營上國有トシテ保存ノ必要アルモノハ賣拂譲與又ハ交換スルコトヲ得ス但シ公用又ハ公益事業ノ爲必要アルトキ及第十五條ノ場合ハ此ノ限ニ在ラス

第三條

前條ノ國有林野ト雖他ノ官有地ニ編入スルノ必要アルトキハ之カ組換ヲ爲スコトヲ得組換ヲ爲シタル土地ニシテ其ノ使用ヲ廢シタル場合ニ於テ林野ニ復スヘキ必要アルモノハ更ニ國有林野ニ編入ス

第四條

國有林野ノ境界査定ハ當該官廳ニ於テ豫メ期日ヲ定メ鄰接地所有者ニ通告シテ其ノ立會ヲ求メ施行スヘシ

第五條

國有林野ノ境界査定ヲ終ヘタルトキハ當該官廳ハ直ニ鄰接地所有者ニ通告スヘシ

第六條

國有林野ノ境界査定又ハ測量ノ爲目標ヲ設置シ若ハ支障木竹ヲ伐採スルノ必要アルトキハ其ノ土地若ハ木竹ノ所有者ハ正當ノ理由ナクシテ之ヲ拒ムコトヲ得ス

第七條

鄰接地所有者境界査定ニ不服アルトキハ第五條ノ通告ヲ受ケタル日ヨリ六十日以内ニ行政裁判所ニ出訴スルコトヲ得

第八條

國有林野ハ左ノ場合ニ限り隨意契約ヲ以テ賣拂フコトヲ得

一

公用又ハ公益事業ノ爲必要アルトキ

二

市町村又ハ公立小學校ノ基本財産ニ充ツルトキ

三

社寺上地ノ森林ヲ其ノ社寺ニ賣拂フコトキ

四

命令ノ定ムル所ニ依リ特別ノ緣故アル林野ヲ其ノ緣故アル者ニ賣拂フコトキ

五

民有地、道路、河川等ニ介在スル十町歩以内ノ林野ヲ鄰接地ノ所有者ニ賣拂フコトキ

六

道路、溜池、堤塘、溝渠等ノ敷地トシテ貸付シアル林野ヲ其ノ借地人ニ賣拂フコトキ

七

此ノ法律施行以前ニ開墾、牧畜又ハ植樹ノ爲貸付シタル林野又ハ第九條ノ開墾地ヲ其ノ事業ヲ成功シタル者ニ賣拂フコトキ

第九條 國有林野ハ開墾ノ成功ヲ條件トシ豫メ其ノ價格及成功期限ヲ定メ隨意契約ヲ以テ賣拂フ豫約ヲ爲スコトヲ得

第十條 國有林野產物ノ隨意契約ニ依ル賣拂ニ關スル規定ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

第十一條 國有林野ハ左ノ場合ニ限り隨意契約ヲ以テ貸付スルコトヲ得

一 公用又ハ公益事業ノ爲必要アルトキ

二 牧畜又ハ植樹ノ爲必要アルトキ

三 第九條ニ依リ開墾者ノ爲ニスルトキ

四 一箇年貸付料三百圓ヲ超エサルコトキ

第十二條 國有林野ヲ貸付スルコトキハ相當ノ貸付料ヲ徵收スヘシ但シ前條第一號及第三號ノ場合ニ於テハ貸付料ヲ免スルコトヲ得

第十三條 國有林野ノ貸付ハ左ノ期間ヲ超ユルコトヲ得ス

一 植樹ノ場合ニ於テハ八十年

二 家屋、倉庫其ノ他ノ建築物ノ場合ニ於テハ三十年

三 其ノ他ノ場合ニ於テハ十五年

第十四條 國土保安又ハ國有林野ノ經營上必要ナル場合ニ限り國有林野又ハ立木竹ト他ノ同價格以上ノ土地、森林、原野又ハ立木竹ト交換スルコトヲ得

第十五條 國有林野ハ左ノ場合ニ限り讓與スルコトヲ得

一 段別一町歩以下ニシテ公立ノ學校又ハ病院ノ用地ニ供スルトキ

二 府縣郡市町村及其ノ他ノ公共團體ニ於テ道路、河川、港灣、水道、堤塘、溝渠、溜池、火葬場、墓地、公園等公共ノ用ニ供スルトキ

第十六條 用途ヲ指定シテ讓與シタル國有林野ヲ指定ノ期間内ニ其ノ用途ニ使用セサルコトキ又ハ一旦其ノ用途ニ使用シタル後當該官廳ニ於テ指定シタル期間其ノ使用ヲ繼續セサルコトキハ之ヲ返還セシムルコトヲ得

第十七條 依リ林野ヲ返還セシメタル場合ニ於テハ其ノ林野ノ上ニ設定シタル第三者ノ權利ハ消滅ス

第十八條 社寺上地ノ森林ハ其ノ社寺ニ保護ヲ委託スルコトヲ得

第十九條 國有林野ニシテ保護上必要ナル場合ニ於テハ市町村又ハ市町村内ノ一部ニ其ノ保護ヲ委託スルコトヲ得

第二十條 前二項ノ場合ニ於テハ其ノ委託者ニ林野產物ヲ讓與スルコトヲ得

第二十一條 委託ノ方法及受託者ニ讓與スヘキ林野產物ニ關スル規定ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

第二十二條 國ハ造林者ト其ノ收益ヲ分收スルノ契約ヲ以テ國有林野ニ部分林ヲ設ケルコトヲ得

第二十三條 造林者ト其ノ理由ニ依リ國有林ニ就キ收益ノ分收ヲ爲スモノハ前項ノ部分林ト看做ス

第二十四條 部分林ノ樹木ハ國ト造林者トノ共有トシ其ノ持分ハ收益分收ノ部分林設定前ヨリ存在スル樹木ハ國ノ所有トス

第二十五條 部分林ノ存續期間ハ八十年ヲ超ユルコトヲ得ス

第二十六條 前項ノ期間ハ之ヲ更新スルコトヲ得

第二十一條 民法第二百五十六條ノ規定ハ部分林ノ樹木ニ適用セス
第二十二條 第十七條第三項及第四項ノ規定ハ部分林ノ造林者ニ之ヲ準用ス

第二十三條 主務大臣ハ十箇年毎ニ其ノ年三月三十一日ニ現在スル國有林野現在表ヲ其ノ年開會ノ帝國議會ニ報告スヘシ但シ第一回ノ報告ハ明治三十四年三月三十一日ノ現在ニ依ル

第二十四條 主務大臣ハ毎會計年度間ニ於ケル國有林野ノ増減異動ヲ翌年度開會ノ帝國議會ニ報告スヘシ

附則

第二十五條 此ノ法律ハ北海道及沖繩縣ニ施行セス
第二十六條 此ノ法律ハ明治三十二年七月一日ヨリ施行ス

○田中正造君(百十六番) 是ハ政府委員ニ質問ヲ致シマスルガ、此案ニ直接ニ關係シタコトデ、此案ガ出ルト云フコトヨリシテ、此山林ノ泥棒ガ出來タノデアル、此案ノ行レルト云フコトツカシクナルト云フノデゴザイマセウ、ソレカラ俄ニ山林ノ大泥棒ガ出來タノデアル、是ハ群馬縣ノ地内デ足尾銅山ノ附近デ、其字ハ吾妻村ト云フ所ニ小中ト云フ所黒井黒骨ト云フ三箇所、此處ニ今山林ノ濫伐ガアルノデス、豫テ此附近ノ山林ノコトニ附イテハ、唯今申スマデモナシ議會ニ質問書モ提出シテアッテ、此水源涵養ニ附イテ又一昨年以來非常ニ此森林ノ濫伐ヲ木ヲ伐ルコトハ嘆願シテアル、伐ラナイデ吳レロト云フ願ガ出テ居ル、又一方ニハ伐ツタ後トヘ木ヲ植エテ居ルト云フトキデアル、其伐リ殘リノ山ヲ此節濫伐ヲシテ居ルト云フノハ何事デアルカ、是ハ農商務大臣ハ御知ナサラナイデアラウト思フノデアルカラ、幸農商務大臣御出掛デアルカラ、私ハ此處直接ニ御訴申ス、大抵ナ農商務大臣ハ斯ウ云フ泥棒ハ知ラナイノデアアル、何時モ農商務大臣ハ斯ウ云フ泥棒ハ知ラナイノデアアルカラシテ、宜シク嚴重ナル取締ヲ爲サラウトモ、亦内務省ノ役員モ居ルダラウカラシテ、宜シク御問合ナサテ、早速是ハ處分ヲシナケレバナナナイノデアアル、千人カラノ人數ヲ俄ニ入レテ木ヲ伐ツテ居ル、斯様ニ論ジテ居ル中ニモ、バタノ伐ツテ居ルノデアアル、是レ現行犯デアアル、是ダケノコトヲ以テ明ニ私ガ申シマシタラバ、如何ニ農商務省ノ官吏等ガ大臣ノ眼玉ヲ黒クシテモ、是ハ出來ナカラウ、是ハ正ニ々々山林ノ泥棒デゴザイマスカラシテ、直チニ之ヲ取押ヘナケレバナナナイノデ、彼ノ枯レタ木ヲ一本伐ツタトカ、木ノ葉ヲ掃ツタトカ云フヤツヲ捕ヘテ牢ニ入レルバカリガ能デナイ、大泥棒ヲ捕ヘナケレバナナナイ、山林ノ木ヲ伐ルコト云フ事實ガアレバ、明ニ泥棒ニ相違ナイ、此群馬縣ノ地内ニ於テ渡良瀬川ノ分流水以内ノ水源涵養ノ場所ニ於テ、木ヲ伐ツテ惡イコト云フコトハ、昨年來モウチヤント極ツテ居ルノデアアルカラ、此處ニ木ヲ伐ルト云フコトハナイ筈デアアル、況ヤ是ハ千人カラノ人夫ヲ入レテ、伐殘リノ二千町歩餘ノ山ヲドシノ片ッ端カラ伐ツテ居ルノハ、ドウ云フコトデアアルカ、序ニ御話ヲ申シマセウガ、群馬縣ノ縣會議員ガ、縣廳ニ掛合ッタ所ガ、縣廳ノ役人ノ言フニハ、誠ニ残念デハアルガ、ドウモ地方官衙ハ到底古川市兵衛ノ爲ス所ニ向ツテハ、齒ガ立タナイカラ困ルト云フコト答ヘタト云フコトデアアル、斯様ナ譯デ古川市兵衛ノ身ノ上ニハ法律ナシ、宜シク農商務大臣ハ此事實ガアルカナイカト云フコトヲ御答ニナルセウニ致シタイ

(農商務大臣曾禰荒助君演壇ニ登ル)
○恆松隆慶君(九十七番) 先ヅ大體ノ説明ヲ爲サツテ、ソレカラ田中君ノ質問ニ御答辯ヲ希望シマス

○農商務大臣(曾禰荒助君) 宜シウゴザイマス、此國有林野法案ノ提出ノ理由ハ、極簡單ニ書イテアリマス通デ、而シテ此案ハ先年一旦衆議院ニ提出サレタコトガゴザイマス、ソレカラ追々衆議院ニ於テモ此處彼處ト修正ヲサレマシタコトモゴザイマス、ソレカラ後ニ二年半モ掛リマシテ十分研究ヲ積ミ、修正スベキ所ノモノハ修正致シマシテ、之ニ關連ノ後ノ案ノ國有土地森林原野下戻法モ同一ノ調ヲシ、同一ニ過日提出ニナツタコトモゴザイマス、所ガ不幸ニシテ十分ノ時間ガゴザイマセザツタメニ到頭成立ツコトガ出來マセザツタ、今回之ニ引續ギマシテ尙ホ別ニ此山林ヲ整理スル所ノ法案モ不日ニ提出スル積デゴザイマス、是ダケガ是マデノ成立ト將來此兩方ノ案ガ成立チマシテ、而シテ總テノ山林ヲ整理致サウト考ヘマス、此處ダケガ、此提出ノ理由デス、唯今田中君ガ質問ト仰ツシヤイマシタマス、私ニハ質問トハ受取レマセザツタ、ト云フノハ、何處々々泥棒ガアツタト云フ御言葉デゴザイマシタガ、嘗テ一年半カ二年バカリ前ニ泥棒ガアツタト云フコトヲ承知シマシタリマス、併ナガラ今日ドシノ伐ツテ居ルト云フコトハマダ私ハ承知シマセス、隨分取調ヲ致シマスル積デゴザイマス、併ナガラ田中君ニツ申シマシタコトハ、果シテ泥棒ト御認ニナツテシマツタコトナラバ、其泥棒ヲ見通スコトハ國民誰モ一切許シテナイコトデアリマスカラ、其場合ハドウウ私マデ御話ニナルヨリハ、其御左右ニアル警察官ナリ何ナリヘ、直接御注意アラシコトヲ希望シマス

○田中正造君(百十六番) 何ヲ農商務大臣ハ云フノデアアル、百十六番ハ帝國議會ノ議員デアアル、議員デアツテ農商務大臣ヲ見タカラ言フノデアアル、ソレヲ警察官ニ訴ヘヨトハ大キナ御世話ダ、斯ノ如キ迂闊ナル間拔ケナルコトヲ言フノデアアルカラ、汝ノ眼玉ヲ黒クサレテ、眼前泥棒ヲサレテ居ルコトヲ知ラヌ...

○議長(片岡健吉君) 田中君、質問デナケレバ發言ヲ許シマセヌ
○田中正造君(百十六番) 是ヲ知ラヌナラバ、知ラヌト言ハナケレバナラヌ、何ゾ警察官衙ヘ往ツテ訴ヘヨトハ何ダ、間拔ケメ

○農商務大臣(曾禰荒助君) 斯ノ如キ發言ヲセラレルハ、ドウ云フ譯デスカ、少シ承リタイ

(田中正造君「大泥棒メ」ト呼フ)
○菅野善右衛門君(百七十番) 議長...

○議長(片岡健吉君) 百七十番ハ質問デスカ
○菅野善右衛門君(百七十番) 質問デゴザイマス、或ル新聞ヲ見マシタ所ガ、高野山拂下ノ開設ト云フコトガ書イテアルデゴザイマス、此高野山ハ凡ソ八百萬圓モ...

○議長(片岡健吉君) 此案ニ關係ガアリマスカ
○菅野善右衛門君(百七十番) 此條項ノ八條ノ第三ニ載ツテ居ル、ソレデ之ヲ當該大臣ハ或ル者ノ運動ノタメニ之ヲ下戻サントシテ、即チ局長マデモ調印ヲシテアルト云フコトガ書イテアル、又サウ云フ說ヲ耳ニシタコトモアルノデスガ、ドウ云フ有様ニナツテ居ルカ、實ハ此下戻シ問題ニ對シマシテハ、奇々怪々ナルコトヲ耳ニシテアルノデゴザイマスルガ、此高野山下戻シニ對

シマスル所ノ山林下戻シニ對シマスル所ノ當局ノ取扱ト云フモノハ、如何ヤウニナリテ居ルカ、此第八條ノ第三項ニ附イテ伺ヒマス、尙ホ併テ御尋致シマスケレドモ、兵庫縣ノ瑠璃山ニ對スル所ノ處分モ併テ承リタイ

(政府委員農商務次官藤田四郎君演壇ニ登ル)

○政府委員(藤田四郎君) 唯今ノ御尋デゴザンスルガ、是ハ此次ノ法案ノキニ御尋下サル方ガ、尙ホ便利デアラカト思ヒマスガ、併シ此場合ニ御答シテモ聞ヘナト思ヒマスカラ、御答致シマス、高野山ノ下戻シト云フコトニ附キマシテハ、是マデ四五回同程農商務省ニ願出タコトガアリマス、孰モ聞届難イコトノ指令ニ相成ツタノデゴザンス、昨年再ビ十月デゴザンシタガ、十月ノ上旬ダト思ヒマシタ、上旬デゴザンシタカ、願出マシタト云フコトデゴザンス、當時即チツレハ私共ガ役人ニナリマシタカラデゴザンシタガ、新聞ニ出マシタカラ、果シテサウ云フモノガ再ビ出タカト思ツテ、調ベタコトガゴザンシタ、サウシマシタラバ昨年ノ極月末ニ至リマシテ、農商務省ヘ出テ參リマシテゴザンス、又御承知ノ通非常ナ定員ノ少イ所ニ、非常ナ書類ガ澤山ゴザンシテ、ナカノ順序ニ依ッテ調ベマスモノデゴザンシタカラ、マダ高野山ノ下戻シニ附キマシテノ書類ハ、主任モ定マッテ居リマセヌ位デゴザンシタ、凡ソ出願ノ順序等ニ依リマシテ致シマスルコトデゴザンシタカラ、新シク出マシタモノニ附キマシテハ、マダ更ニ調査ガ出來テ居リマセヌ、外ノコトハマダ御尋デゴザンシタカ、ツレダケデゴザンシタカ

○菅野善右衛門君(百七十番) 兵庫縣瑠璃山林ノ件ハ如何

○政府委員(藤田四郎君) 瑠璃山デスカ、御尋ノゴザンシタノハ、是ハ餘程前カラ出テ居リマス云フコトデゴザンシタガ、私ハマダ其出願ノ書類ガ、私ノ手許マデ來ル事柄ハ存シマセヌ、併シ餘程前カラデゴザンシタカラ、段々調査モ進メ居リマスガ、マダ孰モ決スルマデニ至ッテ居リマセヌ

○菅野善右衛門君(百七十番) 尙ホ御尋致シマスガ、瑠璃山ニ對スル所ノ出願ハ誰ニデアルカ

○政府委員(藤田四郎君) 私ハチヨット今覺エテ居リマセヌガ、御入用デアリマスレバ、アナタマデ御送申セテモ宜シウゴザイマス、唯記憶シテ居ル所ハ、孰レモ寺カラ下戻シヲ願フテ居ル

○議長(片岡健吉君) 格別御質問ガナケレバ特別委員ノ選舉ニ移リマス

第十 右議院ノ審査ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉

○恆松隆慶君(九十七番) 國有林野法案デゴザイマスルガ、次ニマダ森林原野下戻法案ガゴザイマスカラ、是ハ少シ委員ガ多ウゴザイマスガ、十八名ト云フ見込デゴザイマス、後ノモ併セル考デ、ドウカ十八名議長ノ指名デ……

○議長(片岡健吉君) 恆松隆慶君カラ、此委員ハ十八名ノ特別委員ヲ選ムト云フ御説ガ出マシタガ、御異議ハアリマセヌカ

(「異議ナシ異議ナシ」ト呼フ者アリ)

○議長(片岡健吉君) 議長ノ指名デ御異議ハアリマセヌカ

(「異議ナシ異議ナシ」ト呼フ者アリ)

○議長(片岡健吉君) 御異議ガナケレバ、議長ガ指名スルコトニ致シマ

ス——議事日程ノ第十一、國有土地森林原野下戻法案、議案ノ朗讀ヲ省略致シマス

第十一 國有土地森林原野下戻法案(政府提出) 第一讀會

國有土地森林原野下戻法案

第一條 地租改正又ハ社寺土地處分ニ依リ官有ニ編入セラレ現ニ國有ニ屬スル土地森林原野若ハ立木竹ハ其ノ處分ノ當時之ニ付キ所有又ハ分收ノ事實アリタル證據ヲ有スル者ニ於テ此ノ法律ニ依リ明治三十二年十二月三十一日迄ニ主務大臣ニ下戻ノ申請ヲ爲スコトヲ得

前項ノ期限ヲ經過シタルモノ又ハ下戻ニ關シ既ニ處分ヲ受ケタルモノハ下戻ノ申請ヲ爲スコトヲ得ス

地租改正處分既濟地方ニ於ケル未定地脫落地ニ付テハ此ノ法律ノ規定ヲ準用ス

第二條 下戻ノ申請ヲ爲ス者ハ第一條ノ事實ヲ證スル爲少クトモ左ノ書面

一 所有又ハ分收ノ事實ヲ證スヘキ公簿若ハ公書

二 高受ニシテ納稅シタルコトヲ證スヘキ書面

三 賣買讓與質入書入寄附等ニ依ル所有又ハ分收ノ事實ヲ證スヘキ書面

四 木竹又ハ其ノ賣却代金ヲ分收シタルコトヲ證スヘキ書面

五 私費ヲ以テ田畑宅地ニ開墾シタルコトヲ證スヘキ書面

六 私費ヲ以テ田畑宅地ニ開墾シタルコトヲ證スヘキ書面

第三條 前條ノ證據書類ニシテ所有又ハ分收ノ事實ヲ證スルニ充分ナリト認ムルトキハ主務大臣ハ其ノ下戻ヲ爲スヘシ但シ第三條ノ對シテ讓渡ノ契約ヲ爲シタルモノ又ハ埋立ヲ許可シタル公有水面ノ敷地ハ此ノ限ニ在ラス

第四條 下戻ヲ受ケタル者ハ其ノ下戻ニ因リテ所有又ハ分收ノ權利ヲ取得ス

前項ニ依リ所有又ハ分收ノ權利ヲ取得シタル者ハ其ノ土地森林原野若ハ立木竹ニ關シ第三條ニ對スル國ノ權利義務ヲ承繼ス

第五條 公用又ハ社寺境内ニ供シタル土地森林原野若ハ立木竹ハ下戻ヲ爲シタル後ト雖無償ニテ其ノ公用又ハ社寺境内ニ供セラルモノトス

第六條 下戻申請ニ對シ不許可ノ處分ヲ受ケタル者其ノ處分ニ不服アルトキハ行政裁判所ニ出訴スルコトヲ得

第七條 此ノ法律施行以前ニ差出シタル下戻ニ關スル申請書又ハ願書ハ此ノ法律ニ依リタルモノト看做ス

○菅野善右衛門君(百七十番) 此一條ニ附イテ政府委員ニ御尋致シマスガ、一條ノ「現ニ國有ニ屬スル土地森林原野若ハ立木竹ハ其處分ノ當時之ニ付キ所有又ハ分收ノ事實アリタル證據ヲ有スル者」ト云フコトガゴザイマス、此處分ノ當時ト云フコトハ、是ハ例ヘバ木ヲ伐リマズルコトカ、或ハ草ヲ刈リマスルコト云フコトハ、意味デアラウカト思ウテ居ルデアルカ、ツレカラ分

收ノ事實アリタルト云フコトデゴザイマスガ、之ハ例ヘバ木ヲ伐タトカ草

ヲ刈ツタト云フ何カ書附ガアレバ、下戻スト云フヤウナコトデアルカ、ソ
レヲ御尋申シマス

(政府委員農商務次官藤田四郎君演壇ニ登ル)

○政府委員(藤田四郎君) 第一條ノ第一番ノ御尋ハ處分ヲ受ケタルト云フ
コトデゴザイマシタカ、ソレデゴザイマス、處分ノ時當時ト云フコト
ハ、何レノトキヲ指シタノデアルカ、是ハ處分ノ當時ト申シマスモ、ハ、地
租改正又ハ社寺上知處分ノ以前ニ於キマシテノ事柄デゴザイマス、ソレカラ
シテ分收ト云フ事柄デゴザイマス、是ハ即チ部分林杯ト申シマシテ、官地
ニ人民ガ植付ケマシタト云フヤウナ場合ノコトヲ申シマス、ソレデゴザイ
マス

○菅野善右衛門君(百七十番) 尙ホ御尋致シマスルガ、處分ノ當時ト云フコ
トハ、地租改正當時以前ノコトヲ指シテアルト説明サレタヤウデゴザイマ
スガ、果シテサウデゴザイマスカ

○政府委員(藤田四郎君) 是ハ詰リサウ云フコトニ事實ナリマス、ソレデゴザ
イマス、其官有地ニ官林ニナリマシタモノハ、即チ地租改正又ハ社寺上知處
分ノ場合デゴザイマス、其以前ニ所有權ノアリマシタモノデゴザイマス、ソ
レヲ、ソレヨリ以前ノコトヲ申シマス、詰リ一番シマヒノデゴザイマス
カラ……

(恆松隆慶君「モウ質問ハ委員會デセラレタラ如何デゴザイマセウ」ト
呼フ)

○門馬尙經君(百六十九番) 私ガ此第一條ニ明治三十二年十二月二十一日マ
デ云々ト云フ所ヲ御尋致シマス、我福島縣ノ如キガ御承知ノ御方モアリマセ
ウケレドモ、不幸ニシテ縣會ガ解散ニナツテ居リマス、然ルニ解散前ニ縣會
ニ山林整理費トカ云フモノガ、豫算ニ出テ居ツタサウデゴザイマス、縣會ガ
解散ノ結果トシテ其費用ト云フモノハ削リコトハ出來ナイ、サウスト我福
島縣ノ如キ日本ニ第一位ヲ占メテ居ル所ノ山林國ガ、三十一日マデニ下戻
申請ヲシロト云フコトニナリマス、餘程困難ヲ感シヤウト思ヒマス、ソレ
デサウ云フ縣會解散トカ云フ特別ノ己ムヲ得ザル事情ノアル所ハ、此期限ノ
後ニモ御許ニナルコトニナリマセウカ、チヨット伺ツテ置キマス

○政府委員(藤田四郎君) 御答致シマスルガ、此下戻ノコトニ附キマシテ
ハ、前々年既ニ期限ヲ定メテ出スト云フテ、衆議院ノ決議ヲ經マシテゴザ
イマス、位ノコトデ、略ハ人々皆下戻ト云フコトハシナケレバナラヌ、スル
コトガ出來ルト云フコトハ、略ハ知ツテ居ルコトデゴザイマス、最早今
日ニ於キマシテハ、エラク永ク期限ヲ延バス必要モアルマデト云フ考デゴザ
イマス、既ニ此期限ガ極リマシタ以上ハ、計ルベカラザルコトニ附キマシテハ
ドウナルカ知レマセウガ、免ニ角此以前ノ期限ニ附イテハ、例外ハゴザイマ
セヌノデゴザイマス

○議長(片岡健吉君) 大抵質問ハ盡キタヤウデアリマスカラ、議事日程第十
二、特別委員ノ選舉

第十二 右議案ノ審査ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉

○恆松隆慶君(九十七番) 是ハ前ノ委員ニ付託スルコト云フ考デゴザイマス
ガ、此處ニ社寺林地保管法案ト云フ法案ガ、出水君他六名カラ、過日提出シ

タ案ガアリマス、ソレハ斯ウ云フ政府案ガ出タトキニ、同一ノ委員ニ付託シ
タイト云フコトヲ述ベテ置キマシタ、之ヲ併セテ前ノ委員ニ付託セラレ
ト望ミマス、若シ又此理由ハ出水君カラ述ベラレデゴザイマセウ、免ニ
角サ致シタイト考ヘマス

○議長(片岡健吉君) チヨット恆松君ニ確メマスガ、先キノ議事日程第十
委員ニ此社寺林地保管法案ヲ託スルコト云フノデスカ

○恆松隆慶君(九十七番) サウデス、前ノ十八名ノ委員ニ下戻法案及社寺林
地保管法案ヲ同一ノ委員ニ付託シタイ、斯ウ云フノデアリマス

○出水彌太郎君(二百二十二番) 唯今恆松君カラ申サレマシタ社寺林地保管
法案ニ附キマシテ、今日マデ延期ニナツテ居リマシタカラ、私ノ提出シタ理
由ヲ述ベタイ

○議長(片岡健吉君) 今議事日程ニ上ツテ居ラナイカラ、其コトハ出來ナ
イ、恆松隆慶君カラ、本案ヲ前ノ委員ニ付託シタイト云フ動議ガ出テ、此
社寺林地保管法案モ其委員ニ付託シタイト云フ説ガ出マシタガ異議アリマス
マイカ

○出水彌太郎君(二百二十二番) 其社寺林地保管法案ヲソレト同一ノ委員ニ
付シタイト云フ趣旨ヲ以チマシテ、議事日程ノ變更ヲ請ヒマス、議事日程變
更ガ確定ニナリマス、一應理由ヲ述ベタウデゴザイマス

○議長(片岡健吉君) 贊成ガアリマスレバ、此事ノ審議ニ掛リマス
○恆松隆慶君(九十七番) チヨット出水君ニ協議シマスガ、此理由書ニアナ
タノ熱心デ御出シニナツタト云フコトハ、スツカリ分ツテ居ル、ソレデ委員
會デ御述ナスツタ方ガ宜カラウト思ヒマス

○議長(片岡健吉君) 贊成ガナイト認メマス
○鳩山和夫君(二百七十七番) 私ハ恆松君ノ趣意ニ贊成デスガ、併ナガラ日
程ニナイモノヲ委員ニ付託スルコト云フコトハ少シ變デアルト思ヒマス、第十
二ノ委員選舉法ハ、即チ日程第九ノ委員ニ付託スルコト云フコトダケニ止メテ
置イテ、ソレカラチヨット簡短ニ日程ヲ變更シテ、同一ノ委員ニ付託スルコ
ト、別ニシナケレバナラヌト考ヘル、恆松君ニ御協議致シマス

○恆松隆慶君(九十七番) サウ致シマス、出水君ガ説明シタガツテ居マスカ
ラ、更ニ此案ダケハ前ノ委員ニ付託致シテ、ソレカラチヨット此度私ガ申シ
マス

○議長(片岡健吉君) 恆松隆慶君ハ先キノ動議ヲ取消シテ、更ニ唯今ノ議事
日程第十二ノ委員ハ第十ノ委員ト同様ノ委員ニ付託スルコト云フコトデゴザ
イマスガ、御異議アリマスマイカ

(「異議ナシ」ト呼フ者アリ)

○議長(片岡健吉君) 御異議ナケレバ、其通致シマス

○恆松隆慶君(九十七番) 過日社寺林地保管法案ハ一旦日程ニ載ツタノデア
リマス、其載ツタトキニ此政府案ガ議場ニ出タトキニ、同一ノ委員ニ付託スル
コト云フ理由ヲ以テ延期シタノデゴザイマス、此場合前ノ委員ニ付託セラレ
コトヲ希望致シマス

○議長(片岡健吉君) 議事日程ノ變更デアリマスカ
○恆松隆慶君(九十七番) 寧ろ是ハ取消シマセウ、日程ニ載セタトキニ、サ
ウシテ出水君ニ十分説明サセタ方ガ宜シウデゴザイマセウ

○議長(片岡健吉君) ツレデハ恆松隆慶君ノ動議ハ、取消サレマシタカラ、此次ノ議事日程第十三ハ、委員長カラ報告ヲ延バシタイト云フコトデアリマス、今日ハ延バシマス、議事日程ノ第十四、訴願法中改正法律案第一讀會ノ續、橋本久太郎君

第十四 訴願法中改正法律案(利光鶴松 君外七名提出)

第一讀會ノ續(委員長 報告)

○橋本久太郎君(二百三十二番) 極テ簡單ナモノデゴザイマス、是カラ此訴願法ノ委員會ノ經過竝ニ結果ヲ此席カラ報告致シマス、此委員會ハ二十三日二十五日ノ兩日開キマシタコトデゴザイマス、詰リ此改正ハ極テ簡單ナコトデゴザイマシテ、第一條即チ訴願法第一條ハ、是マデ列記法デアッタ所ヲ今度是ヲ概括法ニ變ヘマシタコトデゴザイマス、概括法ニ致シマシタト云フコトハ、即チ此訴願ノ權利ヲ伸張シテ區域ヲ擴張メマシタコトデゴザイマス、是ハ前ニ行政裁判所ノ方ノ改正ヲシマシタコトデ、行政裁判所法ヲ改正シテ、而シテ其權限ヲ擴張メテ、出訴ノ區域ヲ廣クシマシタコトデゴザイマス、是ト矢張連續スルヤウニシマシテ、此訴願法モ即チ概括法ニシテ、區域ヲ擴張メタコトデゴザイマス、是ニ對シテ政府委員ハ、前ノ行政裁判所法中改正ニ對シテ、反對ノ意見ヲ述ベラレタト矢張同一ノ精神ヲ以テ、之ニ反對ヲシマシタケレドモ、委員會ハ之ヲ排斥シテカラニ、全會一致ヲ以テ、此提出案ノ通可決致シマシタ譯デゴザイマス、此旨ヲ報告致シマス

(贊成ト呼フ者アリ)

○議長(片岡健吉君) 本案ノ第二讀會ヲ開クヤ否ヤノ採決ヲ致シマス

(異議ナシ異議ナシト云フ者アリ)

○議長(片岡健吉君) 御異議ガナケレバ、第二讀會ヲ開クコトニ致シマス
○恆松隆慶君(九十七番) 讀會ヲ省略シテ、二讀會デ確定アラント希望致シマス
○議長(片岡健吉君) 直チニ讀會省略ノ動議ガ出マシタ、御異議ハアリマスマイカ

訴願法中改正法律案

確定議

(異議ナシ異議ナシト云フ者アリ)

○議長(片岡健吉君) 本案ニ附イテ御異議ガナケレバ、確定ト認メマス、議事日程ノ第十五、民法中改正法律案第一讀會ノ續——古谷新作君

第十五 民法中改正法律案(利光鶴松君外七名提出)

第一讀會ノ續(委員長 報告)

○恆松隆慶君(九十七番) 今委員長ノ報告ガアリマス
○議長(片岡健吉君) 十六モ大抵同一デスカラ、一緒ニヤッテ貰ッテハ行カデスカ
○古谷新作君(百九十二番) 民法中改正法律案及失火ノ責任ニ關スル法律案ノ兩案ニ附イテ、特別委員會ノ結果ヲ報告致シマス、此利光君ノ提出ノ民法中改正法律案ト、重岡君ノ提出ノ失火ノ責任ニ關スル法律案トハ、其形式ハ

變ッテ居リマスケレドモ、其實質ニ置キマシテハ同一ノモノデゴザイマス、此兩案ヲ合セテ審議ニ付シマシタ次第デゴザイマス、然ルニ政府委員ハ種々反對ノ意見モアリマシタガ、討論ノ末實質ト形質トノ二様ニ附イテ採決スルコトニ致シマシタ、即チ第一ガ過失ニ附イテ——失火ニ附イテ損害賠償ノ責任ヲ免ズルヤ否ヤト云フコトニ附イテ、採決致シマシタ所ガ、出席委員一致ヲ以テマシテ責任ヲ免ズルコトニ決シマシタ、第二ガ形式ニ附キマシテハ、單行法ヲ用フルカ民法ヲ修正トスルカノ點ニ附イテ、採決ヲ致シマシタ所ガ是レ亦出席委員一致ヲ以テ、單行法トスルコトニ決シマシタデゴザイマス、サウ致シマスルコト云フト利光君ノ案ハ自然ニ消滅ノ姿ニナリマス、重岡君ノ案ニ附キマシテ修正ヲ加ヘマシタ次第デ、其修正ハ諸君ノ御手許ニ同シテ置キマシタ報告書ニ明記シテゴザイマス、御承知ノコト、思ヒマスガ、是ハ念ノタメ其修正案ヲ讀ミ下シマス、民法第七百九條ノ規定ハ當分ノ内失火ノ場合ニハ之ヲ適用セス、但シ失火者ニ重大ナル過失アリタルトキハ此限ニアラスト云フ修正ヲシタ次第デアリマス、願クバ本會ニ於キマシテモ全會一致ヲ以テ可決アランコトヲ望ミマス

(反對ト呼フ者アリ)

○木村格之輔君(百七十八番) 同意シタト申シマス、モウ一遍質問ガアル

○古谷新作君(百九十二番) イヤ……

○木村格之輔君(百七十八番) 反對サレタノデアリマセウカ、同意サレタノデアリマセウカ

○古谷新作君(百九十二番) 委員會ニ於キマシテハ、政府ガ同意スルカラカウザヤ、不同意ダカラカウダト云フノデハナイ、委員會ハ特別委員ノ權利ヲ以テマシテ、斯ノ如ク致シタノデアリマス

○奈須川光實君(二百五十五番) 委員ニ……

(政府委員東京帝國大學法科大學教授梅謙次郎君演壇ニ登ル)
○政府委員(梅謙次郎君) 唯今ノ委員長ノ報告ニ附イテ少々事實ヲ誤ッテ居リハセヌカト思ヒマス、チヨット——政府委員ハ決シテ同意ヲシタノデハナイ、唯併ナガラ兩案ノ中孰レヲ採ルカト言ヒマスレバ、後ノ方ヲ採ルト云フ

○奈須川光實君(二百五十五番) 此委員長ノ報告ニ依リマス、當分ノ内ト云フ文字ヲ加ヘテアリマス、是ハドウ云フコトデアリマセウカ、年々開ク所ノ議會デ若シ不都合デアッタナラバ、其トキニ其法案ヲ改正スルコトハ出來ルモノデアル、然ルニ當分ノ内ト云フ法文ノ文字ハ、何ダカ目障リニナル文字デアリマス、是ハドウ云フコトデアリマス

○古谷新作君(百九十二番) 御答致シマス、此當分トゴザイマス、立法省ガ必要ト認メマシタ所ノ事情ノ變ラナイ間ハ、改メスト云フ意味デ、ツレカラ……

○奈須川光實君(二百五十五番) 宜シウゴザイマス

(採決々々ト呼フ者アリ)

○議長(片岡健吉君) 是ハ二案ヲ一箇ニシテ議題ニ供スルコトニシテモ、異議ハアリマスマイカ

(異議ナシ異議ナシト云フ者アリ)

失火ニ關スル法律案

第一讀會ノ續

○議長(片岡健吉君) 御異議ガナケレバ、委員會ノ修正ヲ議題ト致シマス、此案ニ附イテハ第二讀會ヲ開クヤ否ヤト云フコトニ附イテ、採決致シマス

(異議ナシ異議ナシト云フ者アリ)

○議長(片岡健吉君) 御異議ガナケレバ、第二讀會ヲ開クコトニ致シマス

(確定)又ハ「直チニ第二讀會ヲ開クコトニ」ト云フ者アリ

○議長(片岡健吉君) 直チニ第二讀會ヲ開クコトニ云フ動議ガ出マシタガ、御異議ガナケレバ、第二讀會ヲ開クコトニ致シマス

民法中改正法律案

失火ニ關スル法律案

第二讀會

○木村格之輔君(百七十八番) 本員ハ修正ガアリマスルガ、誠ニ簡短デアリマスカラ、此處デ修正ノ意見ヲ述ベテ置キマス、此委員會デ修正致シマス民法第七百九條ノ規定ハ、當分ノ内失火ノ場合ニハ之ヲ適用セズ此「當分ノ内」ト云フ四字ヲ削除スルコト云フ案ヲ提出致シマス、デ理由ハ「贊成々々」ト呼フ者アリ 失火ノ責任ニ附イテハ日本ハ、即チ三千有餘年ノ間何人モ責任ヲ負ハヘナイト云フコトハ、慣習ニナラテ居ル、殊ニ刑法附則ニテハ現ニ法文トシテ之ヲ認メテアル、然ルニ此元ノ通ニ直ス規定ヲスルニ、當分ノ内ト云フノハ甚ダ耳障リガ惡ル、當分ノ内トシテハ誠ニ見ニクイノデアアル、此上日本國ガ練瓦造リニ全部致スト云フ場合ニナリマシタナラバ、其トキニハ斷然此案ヲ廢スガ宜シ、故ニ當分ノ内ト云フ文字ハ、誠ニ法律ヲ掙ヘル上ニ於テ不都合ノモノト存シマスルカラ、此四字ヲ削除セラレンコトノ動議ヲ提出致シマス

(贊成)又ハ「大賛成」ト呼フ者アリ

○利光鶴松君(百七十二番) 私ハ原案維持ノ意思ヲ述ベマスルガ、此當分ノ内ト云フ四字ガ加リマシタノニハ、種々事情ガアルノデゴザイマス、是ハ諸君モ御承知ノ通ニ免ニ角自分ノ不注意カラシテ、人ニ損害ヲ加ヘタ場合ニハ、之ヲ賠償セシムルト云フノガ一般ノ法理デアアル、ソレニ對スル特例ヲ設クルノデアアルカラ、法律ノ體裁上斯ノ如キコトニハ、當分ノ内ト云フ意味ヲ加ヘテ、幾分か法律ノ體面ヲ保ツコトガ宜シカラウ、ソレカラシテ之ガ民法修正トシテ成立チマスレバ、殊更ニ斯ノ如キ文字ハ要リマセヌガ、ドウ云フ都合デゴザイマスルカ、法典調査會杯ニ於キマシテハ、仕切ツテ此民法修正ト云フコトヲ御厭ヒニナリマシテ、單行法律ニシタイト云フコトヲ主張サレル、ソレニ附イテ私モ同意シタノデ、事ニ害ノナイ限ハ成ルベク學者ニ花ヲ持タスト云フコトガ、寧ロ吾々ノ德義デアラウト云フノデ、御譲ラシタノデケレドモ、是ニ附キマシテ單行法ニ附キマシテ、民法七百九條ノ規定ハ當分ノ内云々ト書ケバ、民法ハ動クノデアアルカラ、議論ハナイ、ソレニ附キマシテ政府委員モ免ニ角當分ノ内ト云フ文字ヲ入レテ貫ヘバ、之ヲ單行法律ニシタト云フ趣意立ツ若シ之ヲ斷然缺イテシマフト、誠ニ單行法律ニシタ趣意モ立タヌカラ、單

行法律ニスルニハ、尙更斯ウ云フ文字ヲ入レテ緩ミヲ附ケテ置クガ宜シカラ、ウト謂フノデ、ソレデ其意ヲ尤ナリト認メテ、此修正ヲ出シタノデアリマス「當分」ト云フコトハ、西洋デハ九十九年マデハ當分ト云フノデ、百年以上ハ永久ト云フ、日本ニ於テハ千年置イテモ五百年置イテモ當分デアアル、單行法律ト致シマスル以上ハ、矢張當分ト云フコトガアル方ガ宜カラウト思ヒマス、此コトハ法典調査會ノ諸君モ御述ニナツテ、私ハ是ニ同意シタノデアリマス、即チ委員會ガ同意ヲシタノデアリマス

○議長(片岡健吉君) 木村格之輔君ノ修正ニ付イテ採決致シマス、木村格之輔君ハ「當分ノ内」ト云フ四字ヲ削除スルコト云フ說、其他ハ原案ノ通、木村格之輔君ノ修正說ニ同意ノ諸君ノ起立ヲ請ヒマス

起立者 多數

○議長(片岡健吉君) 多數ト認メマス

○恆松隆慶君(九十七番) 直チニ確定セラレンコトヲ希望致シマス

○議長(片岡健吉君) 直チニ確定シタイト云フ動議ガ出マシタガ、御異議ハゴザイマスマイカ

(異議ナシ異議ナシト云フ者アリ)

民法中改正法律案

失火ノ責任ニ關スル法律案

確定議

○議長(片岡健吉君) 本案ニ附イテ御異議ガナケレバ確定ト認メマス

(異議ナシ異議ナシト云フ者アリ)

○議長(片岡健吉君) ソレデハ確定ト認メマス——次ハ議事日程ノ第十七地價地租ニ錢位未滿ノ端數ヲ生ズルトキ計算ニ關スル法律案、議案ノ朗讀ヲ省略致シマス

第十七 地價地租ニ錢位未滿ノ端數ヲ生ズルトキ計算ニ關スル法律案

算ニ關スル法律案(野間豐五郎君)

第一讀會

地價地租ニ錢位未滿ノ端數ヲ生ズルトキ計算ニ關スル法律案
地價ヲ定メ又ハ之ヲ修正スルトキ若ハ土地ヲ分賣シテ地價ヲ分配スルトキ地價及地租ノ算出上一錢未滿ノ端數ヲ生シタル場合ニ於テ五厘未滿ハ切捨テ五厘以上ハ切上ケ一錢トシテ計算スルモノトス

○議長(片岡健吉君) 演壇へ……

(野間豐五郎君演壇ニ登ル)

○野間豐五郎君(二百四十三番) 本案ノ提出ノ理由ヲ簡短ニ述ベマス、本案ノ理由ハ全ク地價地租ノ算出ヲ變更スルコト云フダケノコトデ、モウ極簡短ナコトデ、十分早ヤ諸君ニハ御明瞭ニナツテ居リマセウガ、是マデノ地價地租厘位未滿ヲ錢位ニ止メルト云フマデ、餘リ商賈ニ於キマシテモ損益モ更ニゴザイマセズ、モウ全ク厘位ヲ錢位ニ繰上ゲルト云フマデノコトデゴザイマス、成ルベクドウゾ斯ウナスツテ下サツタラ、手數ヲ省キ、又算出上ノ帳面前カラ、總テ費用ニ關係致シマスルコトデゴザイマスカラ、厘位ノ處ヲ錢位ニ變更ヲ願ヒタイノデ、滿場御賛成ヲ願ヒタイ

(贊成々々ト云フ者アリ)

○恆松隆慶君(九十七番) 極モウ是ハ簡單ナ案デ、提出者モ簡短ナ説明デゴザイマシタ、此案ハ委員ニ付託シテ調査致シタイ、ソレデ九名ノ委員議長指名ト云フコトニ致シタイ

○議長(片岡健吉君) 委員説ガ出マシタガ、御異議ハゴザイマスマイカ
(異議ナシ異議ナシト呼フ者アリ)

○議長(片岡健吉君) ソレデハ九名ノ特別委員ヲ議長ガ指名スルコトニ致シマス、チヨット此際報道ガアリマス
(寺田書記官朗讀)

三田村甚三郎君島田三郎君杉田定一君林彦一君大津淳一郎君大岡育造君山口定省君佐藤琢治君佐治幸平君佐藤伊助君ヨリ關稅定率法附屬輸入稅表中改正法律案ヲ提出セラレタリ
貴族院ヨリ種痘法案ハ政府ニ於テ撤回セル旨通牒アリ
高木正年君提出ニ係ル臺灣匪徒鎮定ノ件ニ關スル質問ニ對シ陸軍大臣ヨリ左ノ答辯アリ
衆議院議員高木正年君ヨリ臺灣匪徒鎮定ノ件ニ關スル質問ニ對シ陸軍大臣ヨリ答辯書提出ニ付及御同付候也

明治三十二年一月三十一日
衆議院議員高木正年君提出臺灣匪徒鎮定ニ關スル質問ニ對シ陸軍大臣ヨリ答辯書提出ニ付及御同付候也

衆議院議長片岡健吉殿

內閣總理大臣侯爵山縣有朋

衆議院議員高木正年君提出臺灣匪徒鎮定ニ關スル質問ニ對シ別紙答辯書差進候也

明治三十二年一月二十日

陸軍大臣子爵桂太郎

衆議院議長片岡健吉殿

臺灣ハ古ヨリ頑悍ノ徒多ク集團ヲ事トシ治メ難シト稱ス我ガ領有ニ歸セシ以來或ハ招撫シ或ハ膺懲シ著々其功ヲ顯ハスト雖モ未タ全ク匪徒ノ跡ヲ絶ツニ至ラシムル能ハサルハ古來ノ積弊一朝洗濯シ難ク且ツ交通不便言語不通等ノ障礙アルノミナラス其否難居セルヲ以テ一撃ノ下ニ其除スヘカラサルモノアルニ因ル敢テ用兵ノ術宜シキヲ得サルカ爲ニ非ラサルナリ而シテ政府ハ猶ホ匪徒出沒ノ爲メ國際問題ヲ生セシメサルコトヲ怠ラサルヘ右及答辯候也

明治三十二年一月二十日

陸軍大臣子爵桂太郎

○議長(片岡健吉君) 議事日程第十八北海道水產稅則廢止法律案第一讀會、議案ノ朗讀ヲ省略シマス、加藤政之助君

第十八 北海道水產稅則廢止法律案(加藤政之助君 第一讀會)
外五名提出

北海道水產稅則廢止法律案

明治二十年勅令第六號北海道水產稅則ヲ廢止ス
○杉田定一君(二百九十九番) 議長此處カラ……

○議長(片岡健吉君) 提出ノ説明ナラ登壇ナサイ
○杉田定一君(二百九十九番) 簡短デスカラ、此處カラ申シマス、北海道水產稅全廢ノ理由デ、簡短ニ此處デ述べマス、凡ソ國稅ハ一般ニ賦課スルモノデアリマスガ、北海道ノ水產稅ナルモノハ、獨リ北海道ニ賦課シテ一般ニ賦課スル所ノ如キ偏頗ナル稅デアアルノデアリマス、斯ノ如ク獨リ北海道ニ賦課スル理由デアアルノデアリマス、論者或ハ一方ヨリ論ゼバ、北海道ハ内地同様ニ國稅ト云フモノモ、サウ納メテ居ナイ、又地方稅ト云フモノモ、納メテ居ナイ、内地ト同一ニ總テスルコトハ出來ナイ、北海道ニ於テ水產稅ヲ課シテモ敢テ怪ムニ足ラヌト云フカモ知レマセマス、ソレハ數年以前ハ率ザ知ラズ、段々今日デハ北海道ニ於キマシテモ、内地同様ニ即チ營業稅ナリ所得稅ナリ又ハ地方稅ナリ地租ナリ、内地トハ是等ノ稅源ノ内ニ於テ均シク稅率トサウナッテ居リマス、ケレドモ國稅ヲ年々負擔スルヤウニナッテ來タノデアリマス、又一方ニ於キマシテハ此地方稅——地方稅ノ如キニ至ッテモ年々増加スルニ至タノデアリマス、即チ其北海道ノ產額ノ中ニ於テハ、水產ガ一番多イノデアリマス、水產ノ產額ガ一番多イノデアリマス、又此漁民ト云フモノモ隨分多イノデアリマス、此北海道ノ水產ノ收穫ハ凡ソ八百萬圓、之ヲ製造シテ賣買スレバ、即チ千四百萬圓ノ產額ト爲ルノデアリマス、實ニ非常ナル產額デアアルノデアリマス、是ヨリ三十餘萬圓ノ水產稅ヲ拂ッテ居ル、又一方ニ於テハ是カラ漁業者ガ地方稅ヲ拂ッテ居ルノデアリマシテ、其地方稅ト云フモノハ殆ド北海道ノ十分ノ中ノ六分通ハ、此漁業者ガ拂ッテ居ルノデアリマシマス、此地方稅ト云フモノハ、マダ拂ハナイトキニハ率ザ知ラズ、今日地方稅モ拂ヒ國稅モ拂フト云フ北海道ニナッテ、獨リ此水產稅ハ北海道ガ偏頗ニ賦課セラレテ居ルト云フコトハ、奇怪ノ次第デアリマス、ドウシテモ是ハ北海道ノ水產稅ハ、全廢スルガ公平ナルコトデ、又公論デアラウト、信ズルノデアリマス、又一方ニ於キマシテハ斯ノ如キ重稅ガアルト云フト、實ニ此北海道ノ水產ノ發達ニ大ニ妨礙ガアルノデアリマス、故ニ此北海道ノ水產ノ發達ヲ計ルタメニモ、此水產稅ヲ廢スルノガ宜シイノデアリマス、畢竟此水產稅ト云フモノハ、舊幕封建時代ノ現狀ガ、即チ今日ニ保守シ來タ所ノ偏頗ナル稅源デアリマス、是ハ斷然廢止スルガ宜シカラウト云フノデアリマス、聞ク所ニ依レバ前內閣ニ於キマシテハ、此水產稅ヲ廢スルト云フコトニナッテ居ッタサウデアリマス、現內閣ハ如何デアリマス、之ニ對シテハ如何カ存シマセマスガ、恐ラクハ前內閣同様此水產稅ヲ廢スルコトニ附キマシテハ御反對ハアルマイト信ズルコトデアリマス、願ハクハ斯ノ如キ偏頗ナル所ノ水產稅ハ、滿場一致ヲ以テ御廢止ニナランコトヲ望ミマス、其詳細ナル所ニ至リマシテハ、何レ本案ハ委員ニ付託セラレレルコト、思ヒマス、提出者ハ委員會ニ於テ其理由ヲ陳辯致サウト思ヒマス、詳細ナルコトハ委員會ニ讓ラレルヤウニ致シタイ、簡短ニ全廢ノ儀ヲ述べマス

○工藤行幹君(二百二十五番) 議長
○議長(片岡健吉君) 工藤君ハ質問デアリマス、水產稅ガアル上ニ北海道ニハ、國稅モアリ地方稅モアルト云フコトデアリマスガ、

○工藤行幹君(二百二十五番) 議長
○議長(片岡健吉君) 工藤君ハ質問デアリマス、水產稅ガアル上ニ北海道ニハ、國稅モアリ地方稅モアルト云フコトデアリマスガ、

○工藤行幹君(二百二十五番) 議長
○議長(片岡健吉君) 工藤君ハ質問デアリマス、水產稅ガアル上ニ北海道ニハ、國稅モアリ地方稅モアルト云フコトデアリマスガ、

○工藤行幹君(二百二十五番) 議長
○議長(片岡健吉君) 工藤君ハ質問デアリマス、水產稅ガアル上ニ北海道ニハ、國稅モアリ地方稅モアルト云フコトデアリマスガ、

○工藤行幹君(二百二十五番) 議長
○議長(片岡健吉君) 工藤君ハ質問デアリマス、水產稅ガアル上ニ北海道ニハ、國稅モアリ地方稅モアルト云フコトデアリマスガ、

○工藤行幹君(二百二十五番) 議長
○議長(片岡健吉君) 工藤君ハ質問デアリマス、水產稅ガアル上ニ北海道ニハ、國稅モアリ地方稅モアルト云フコトデアリマスガ、

○工藤行幹君(二百二十五番) 議長
○議長(片岡健吉君) 工藤君ハ質問デアリマス、水產稅ガアル上ニ北海道ニハ、國稅モアリ地方稅モアルト云フコトデアリマスガ、

○工藤行幹君(二百二十五番) 議長
○議長(片岡健吉君) 工藤君ハ質問デアリマス、水產稅ガアル上ニ北海道ニハ、國稅モアリ地方稅モアルト云フコトデアリマスガ、

○工藤行幹君(二百二十五番) 議長
○議長(片岡健吉君) 工藤君ハ質問デアリマス、水產稅ガアル上ニ北海道ニハ、國稅モアリ地方稅モアルト云フコトデアリマスガ、

○工藤行幹君(二百二十五番) 議長
○議長(片岡健吉君) 工藤君ハ質問デアリマス、水產稅ガアル上ニ北海道ニハ、國稅モアリ地方稅モアルト云フコトデアリマスガ、

○工藤行幹君(二百二十五番) 議長
○議長(片岡健吉君) 工藤君ハ質問デアリマス、水產稅ガアル上ニ北海道ニハ、國稅モアリ地方稅モアルト云フコトデアリマスガ、

○工藤行幹君(二百二十五番) 議長
○議長(片岡健吉君) 工藤君ハ質問デアリマス、水產稅ガアル上ニ北海道ニハ、國稅モアリ地方稅モアルト云フコトデアリマスガ、

○工藤行幹君(二百二十五番) 議長
○議長(片岡健吉君) 工藤君ハ質問デアリマス、水產稅ガアル上ニ北海道ニハ、國稅モアリ地方稅モアルト云フコトデアリマスガ、

○工藤行幹君(二百二十五番) 議長
○議長(片岡健吉君) 工藤君ハ質問デアリマス、水產稅ガアル上ニ北海道ニハ、國稅モアリ地方稅モアルト云フコトデアリマスガ、

○工藤行幹君(二百二十五番) 議長
○議長(片岡健吉君) 工藤君ハ質問デアリマス、水產稅ガアル上ニ北海道ニハ、國稅モアリ地方稅モアルト云フコトデアリマスガ、

○工藤行幹君(二百二十五番) 議長
○議長(片岡健吉君) 工藤君ハ質問デアリマス、水產稅ガアル上ニ北海道ニハ、國稅モアリ地方稅モアルト云フコトデアリマスガ、

北海道ニハ地方税ト稱ヘルモノハナイヤウニ本員ハ思ヒマスガ、ツレハ地方ノ協議費ノコトデアアルマイカト思ヒマスカラ、之ヲ承リマス、ツレカラモウツハ、北海道ニハ地方税ハゴザイマセヌカラ、他ノ府縣ノ中デ戸數割ナリ府縣ノ營業税ト云フモノモ國庫ニ納マツテ居ル、從テ彼ノ地方デハ地方税デ支辨シテ居ルモノハ、悉ク國庫カラ支辨ニナツテ居ルヤウニ心得テ居リマス、然ルニ今之ヲ——水産税ハ外府縣デハ國稅ニナツテ居ラナイト云フ所カラ、之ヲ廢止スルト云ノ御論デアアルナラバ、或ハ戸數割或ハ府縣ニ屬スル營業税モ、矢張外府縣同様ニ廢スルト云フ御見込デアアルカ否ヤト云フ、二箇條ヲ承リタイノデゴザイマス

○杉田定一君(二百九十九番) 工藤君ノ御質問ニ答辯ヲ致シマス、北海道ニハ國稅又地方税ト云フモノハゴザイマス、併ナガラ國稅ト地方税ハゴザイマスケレドモ、其地方税ナルモノハ矢張國庫ニ納メルノデゴザイマス、工藤君ノ御質問ニ對シテハ、是デ宜シカラウト思ヒマス、外ニハ議論ニ涉ルヤウニ思ヒマシタカラ、御答致シマセヌ

○西川宇吉郎君(二百三十番) 質問致シマス、水産税ノ年額ハ何程位ニナツテ居リマスカ

○杉田定一君(二百九十九番) 三十六万圓程デアリマス

(政府委員大藏省主税局長目賀田種太郎君演壇ニ登ル)

○政府委員(目賀田種太郎君) 北海道ノコトハ段々徐ニ計ツテ往カナケレバナラヌコトデゴザイマシテ、今俄ニ水産税ヲ廢スルトカ、其他斯ノ如キ北海道ノ大體ニ涉リマスルコトヲ斷ジテ決シマスルノハ、未ダ少シク其場合ニ至ラヌト思ヒマス、殊ニ北海道ハ御承知ノ通未ダ特別ノ制度デゴザイマシテ、發議者ノ言レル如ク所得税ハ行レテ居ルノデゴザイマセヌ、是カラ當ニ行レントスルノデゴザイマス、其他地方税ハ往々増スト云フコトデゴザイマセヌガ、十年間ノ統計ニ依リマスルト殆ド増シテ居リマセヌ、サウ云フヤウナ事情デアリマスノデ、殊ニ此際ニ於キマシテ一般ノ歲入ヲ求メルコトニ急ナル場合デゴザイマシテ、茲ニ數千萬圓ノ缺額ヲ生ズルト云フコトハ、甚ダ困難ノ至リ、因ツテ今ハ政府ハ不同意ヲ表シマス

○恆松隆慶君(九十七番) 本案ハ北海道ニ於キマシテハ、實ニ漁業者ノ死活問題トモ言フベキモノト思ヒマスカラ、委員ニ付託シテ十分ナル調査ノアルヤウニ致シタイ、其委員ハ九名デ議長ノ指命ト云フコトニ願ヒマス

(贊成々々ノ聲起ル)

○議長(片岡健吉君) 委員ニ付託スルト云フ動議ガ、恆松君カラ出マシタガ、御異議ハアリマセヌカ

(異議ナシノ聲起ル)

○議長(片岡健吉君) 御異議ガナケレバ、特別委員九名ヲ議長ガ指命スルコトニ決シマス、次ハ議事日程ノ第十九、明治二十二年法律第十五號會計検査院法中改正法律案第一讀會、議案ノ朗讀ハ省略シマス、工藤行幹君

第十九 明治二十二年法律第十五號會計検査院法中 第一讀會

明治二十二年法律第十五號會計検査院法中改正法律案
第二條乃至第十一條ヲ左ノ如ク改ム

衆議院議事速記第二十二號 明治三十二年一月三十一日 明治二十二年法律第十五號會計検査院法中改正法律案 第一讀會 二八七

第二條 會計検査院ハ長官一員評定官十二員ヲ置キ別ニ評定官補十四員及
第三條 評定官定員ノ半數ハ帝國議會ノ推選員ヲ以テ之ニ充ツ其ノ選出方
ハ貴族院衆議院ニテ各議員六名ヲ推選シ内各三名ヲ任命シ殘員各三名ヲ
豫備員トナス

第四條 帝國議會ノ推選員ヲ以テ任命セラレタル評定官ハ正當ノ理由アルニ
非レハ辭退スルコトヲ得ス

第五條 帝國議會ノ推選員ヲ以テ任命セラレタル評定官ハ各其ノ選出議員ノ
任期ヲ以テ其ノ任期トス但シ滿期ニ至リ再選セララルコトヲ得

第六條 帝國議會ノ推選員ヲ以テ任命セラレタル評定官ニ缺員ヲ生シタルト
キハ第三條ニ定ムル豫備員ヨリ之ヲ補任ス

第七條 帝國議會ノ推選員ヲ以テ任命セラレタル評定官在任中帝國議會ノ議
員ニシテ分限ヲ失ヒタルトキハ直ニ退官トス

第八條 長官評定官ハ勅任トシ評定官補ハ奏任トシ屬ハ判任トス

第九條 長官ハ院務ヲ總理シ評定官ハ部務ヲ掌理ス長官事故アルトキハ上
席ノ評定官ヲシテ代理セシム

第十條 會計検査院ニ十二部ヲ設ケ各部ニ部長一員ヲ置キ評定官ヲ以テ之
ニ充テ評定官補一員ト共ニ検査ノ事務ヲ分掌ス

第十一條 長官及帝國議會ノ推選ニ係ラサル評定官ハ勅令ニ定メタル資格
ヲ具フル者ヲ以テ之ニ任ス

長官評定官ハ刑事裁判若ハ懲戒裁判ニ依ルニ非サレハ其ノ意ニ反シテ退
官、轉官、非職又ハ減俸、免職ヲ命セラルコトナシ

長官評定官ニ關ル懲戒ノ條規ハ別ニ定ムル所ニ依ル

長官ハ前項所定ノ外帝國議會ノ一院ヨリ不信任ヲ議決セラレタルトキハ
直ニ退官ヲ命セラルヘシ但シ此ノ場合ニ於テハ明治二十九年法律第九十
一號第六條ノ規定ヲ準用ス

第十二條 父子兄弟、妻ノ兄弟及姉妹ノ夫ハ同時ニ長官評定官トナルコト
ヲ得ス

第十三條 長官及帝國議會ノ推選ニ係ラサル評定官ハ他ノ官職ヲ兼ヌルコ
トヲ得ス

但シ第三條ニ據リ任命セラレタル者ニシテ其ノ選出所屬ノ議員タルハ此
ノ限ニ在ラス

第十四條 會計検査院ノ議事ノ總會議又ハ聯合部會議ヲ以テ決ス總會議ハ
長官ヲ以テ議長トシ聯合部會議ハ其ノ聯合部中ノ上席部長ヲ以テ議長ト
ス議事ハ多數ヲ以テ決ス可否同數ナルトキハ議長ノ決スル所ニ依ル

第十五條 左ノ場合ニ於テハ總會議ヲ以テ議決ス

一 第二十一條ニ依リ上奏ヲ爲シ又ハ天皇ノ下問ニ奉答スルトキ

二 第二十條ニ依リ報告書ヲ確定スルトキ

三 第二十三條ニ依リ意見ヲ陳述スルトキ

四 検査事務ノ規程計算證明ノ様式及提出ノ期限ヲ定メ又ハ之ヲ改正ス
ルトキ

五 法律勅令ノ新設若ハ改正ニ關シ及其ノ他閣議ヲ要請スルトキ

六 其ノ他長官ニ於テ總會議ニ付スルノ必要アリト認メタルトキ
第十六條 計算検査ノ判決ハ總會議ニ於テス其ノ總會議ニ於テスルト聯
合部會議ニ於テスルトハ長官ノ定ムル所ニ據ル

第十七條 議事ノ結果トシテ第三條ニ據リ選任セラレタル評定官ノ提議ス
ル少數ノ意見ハ其ノ提出者ヨリ之ヲ帝國議會ニ報告スルコトヲ得

第十二條 第十八條トナシ以下順次繰下
第十六條 第三項中「第十三條第三項」トアルヲ「第十九條三號」ト改ム

第十九條 第二項中「會計検査院長」ノ下「官」ノ一字ヲ加フ

○工藤行幹君(百二十五番) 簡短デゴザイマスカラ、此席ヨリ發議スルコト
ヲ御許ヲ願ヒマス、此法案ハ前議會ニモ是ト同様ナルモノヲ提出シマシテ、

即チ委員會ニ付シテ委員會ノ審查ヲ終テ、此會議ニ付サウト云フトキニ、議
會ガ止ンデシマシタノデゴザイマス、其トキニモ略、理由ヲ述ベテアリマス

カ、是モ同様委員ニ付託ニナルコト、思ヒマスカラ、其トキニ委細ノコトヲ述
ベマシテ諸君ニ御差支ガナケレバ、直チニ委員ニ付託ニナルヤウニ致シタイ、

併シ御不審デモアレバ、本員カラ説明ヲ致シマス
○恆松隆慶君(九十七番) 本案ハ議長指名ノ特別委員九名ニ付託スルコトニ
致シタイ

○議長(片岡健吉君) 恆松隆慶君ヨリ本案ハ、九名ノ特別委員ヲ議長ガ指名
スルヤウニト云フ動議ガ出マシタガ

○工藤行幹君(百二十五番) 是ハ前ノ會計検査官ノ懲罰ニ關スル委員モ出來
テ居ルコトデゴザイマスカラ、仰ギ願ハクハワレト同一ノ委員ニ付託セラレ

ルガ便宜デアルト思ヒマスカラ、議長ノ御參考マデニ申上ゲテ置キマス
(贊成々々)ノ聲起ル

○議長(片岡健吉君) 工藤君ノ發議ニ異議ハゴザイマセヌカ
(異議ナシ)異議ナシノ聲起ル

○議長(片岡健吉君) 異議ガナケレバ、其通ニ決シマス、次ハ議事日程ノ第
二十、建議案、議案ノ朗讀ハ省略シマス藤金作君

第二十 建議案(藤金作君外四名提出)

建議案
官幣大社香椎宮追遠會ハ本年春期ヲ以テ

仲哀天皇 神靈御鎮座及
神功皇后 三韓征服御凱旋竝

應神天皇 御降誕ノ一千七百年大祭典ヲ舉行シ併セテ中世ヨリ荒廢ニ委シ
タル諸建物ヲ復舊シ

仲哀天皇 ノ御神殿ヲ改築シ三韓御征服ノ御靈跡ヲ永遠ニ保存セントスル
モノニシテ上下協力以テ其ノ成功ヲ援クヘキノ一大盛舉ナリトス政府ハ

宜シク相當ノ補助金ヲ同會ニ交付シ其ノ目的ヲ達セシムヘシ依テ茲ニ之
ヲ建議ス

○藤金作君(百二十六番) 是ハ大三輪長兵衛君ヨリ説明ヲ致シマス
(大三輪長兵衛君演壇ニ登ル)

○大三輪長兵衛君(百四十八番) 私ハ官幣大社香椎宮追遠會補助建議案ノ提
出者ノ一人デアリマスカラ、聊其理由ヲ簡短ニ述ベマスルガ、ワレヲ述ベタ

イト申シマスルノハ、即チ官幣社ト云フモノガ澤山アリマスルノデ、或ハ斯
ウ云フ建議ガ續々出ハシナイカト云フ、或ハ疑問ガ出ルカモ知レマセヌガ、

ワレハ決シテサウ澤山アルヤウナ譯デハナイト云フコトヲ手短カニ御話申上
ゲテ置キマス、諸君モ御承知ノ通此香椎宮ハ 神功皇后ヲ祀ル所、即チ三韓

御征伐及 仲哀天皇熊襲御征伐ノ大本營ノ舊跡デアアル、就キマシテハ御歷代
ノ御崇敬ノ厚イコトハ御承知ノ通デ、又兵事ノ起タタキ或ハ火災ノトキニ

五日間ノ廢朝ヲ仰出サレ、又奉幣便ヲ奉リシ等伊勢大神宮ト殆ド同一ノ御
崇敬ノ厚イ宮柄デアアル、又世界無比ナル大功烈ヲ立テタマヒタル 神功皇后

ノ事蹟モ既ニ御手許ニ回シマシタ、高勾麗古碑釋文ノ中ニモアリマシテ、是ハ
明治十八年(モウ宜シイ)「ト呼フ者アリ」チヨット簡短ニ是ハ私ガ見テ來

タノデアリマスカラ……ワレハ清國盛京省懷仁縣ニ九連城カラ、凡ソ百六十
餘里モアル所ニ大キナドエライ高イ花園石ノ碑ガアリマス、是ハ御手許ニ回

シマシタ通高勾麗ナル碑ト申シマス、即チ其文ニ「倭以辛卯年來渡海破殘
□□新羅以爲臣民」斯ウ云フ一千五百年前ノ碑ガアリマスカラ、斯ノ如キ顯

著ナル宮柄デアリマスガ、其有様ハドウデアアルカト云フト、或ハ 仲哀天皇
ノ古宮ノ如キ田舎ノ稻荷様ニモ劣ルヤウナモノデ、四尺カ三尺位ノ宮デア

ル、ドウゾサウ云フ古來ノ歴史ノアル宮柄デアリマスカラ、ドウカ諸君ノ滿
場御贊成ヲ得テ、丁度本年ノ五月ガ七百年祭ニナリマスカラ、一同滿場ノ

御贊成ヲ得テ、追遠會ノ成立タノコトヲ希望致シマス
○西村淳藏君(六十二番) 贊成致シマス、即決ヲ願ヒマス

○恆松隆慶君(九十七番) 特別功績ノアル神社ニ關係ノアル建議案デアリマ
スカラ、贊成デアリマス、ドウカ即決ヲ望ミマス

(贊成々々)ト呼フ者アリ
○議長(片岡健吉君) 御異議ガナケレバ可決シタモノト認メマス

(異議ナシ)異議ナシト呼フ者アリ
○議長(片岡健吉君) 御異議ガアリマセヌカラ、可決シタモノト認メマス

次ハ議事日程第二十一、國民教育授業料全廢ノ建議案朗讀ヲ省略シマス

第二十一 國民教育授業料全廢ノ建議案

國民教育授業料全廢ノ建議案
普通教育ハ自ラ專門教育ト異リ國家ノ公務ニ屬スヘキモノナリ授業料ヲ要

スル學校ハ眞正ノ公立ニ非ス故ニ普通學校ヲ公立ト爲シ公稅ヲ以テ之ヲ支
辨シ貴賤貧富ノ別ナク何人ノ子弟ヲ問ハス無月謝ニテ自由ニ普通教育ヲ受

クルノ學制ヲ立ツルハ國家ノ義務ナリト信ス政府ハ速ニ小學校ノ授業料ヲ
全廢シ公稅ヲ以テ自由教育ヲ施行スルノ制度ヲ立テ帝國議會ノ協贊ヲ求メ

ヲ建議ス
右建議案
(根本正君演壇ニ登ル)

○根本正君(二百番) 本員ハ國民教育授業料全廢ノ建議案ノ提出者ノ一人デア
リマスガ、此コトハ諸君モ御贊成ノコト、思ヒマスルガ故ニ、細カニ申上ゲ

マセヌデゴザイマスガ、其要領ヲ一二申上ゲタイト思ヒマス此普通教育ハ元
ト專門教育ト違ヒマシテ國家ノ公務ニ屬スベキモノト思ヒマス、故ニ授業

料ヲ要スル學校ト云フモノハ、公立學校ト云フコトハ出來マセヌ、ワレ故ニ
普通學校ヲ公立ト爲スニハ、即チ公稅ヲ以テ支辨シ貴賤貧富ノ別ナク何人ノ

子弟ヲ問ハズ、無月謝デ普通教育ヲ受ケル制度ヲ立テタイト云フ譯デアリマ
ス、之ヲスルハ國民ノ義務デアリマスカラ、政府ハ速ニ小學校ノ授業料ヲ全
ク廢シテ、公稅ヲ以テ普通教育ヲ授ケルノ制度ヲ立テ、此帝國議會ノ協贊
ヲ求メルヤウニシタイト云フ建議デアリマス、此國民教育ト云フモノハ、實
ニ小學校ノコトヲ申スノデ、學齡兒童六歲ヨリ十四歲マデノ子供ダケニ國民
ノ義務トシテ、無月謝デ教育ヲ授ケナケレバナラヌト云フノガ第一ノ趣意デ
アリマス、然ルニ我國ノ教育制度ノ現狀ヲ見マシレバ、大學ノ如キ專門ノ高等
教育ノ補助ニハ厚クアツテ、小學校ノ如キニハ薄キ譯デアリマス、謹デ明治二
十三年十月三十日ノ勅語ヲ拜讀シマスルニ、其中ニ斯ウ云フコトガアル、億兆
心ヲ一ニシテ世々厥ノ美ヲ濟セルハ此レ我國體ノ精華ニシテ教育ノ淵源亦實
ニ此ニ存ス、斯ウゴザイマス、億兆心ヲ一ニセントスルナラバ、國內億兆ノ
人民ガ、自由教育ノ制度ヲ立テルヨリ外ニ急ナルハナイト思フ、又其勅語ノ
中ニ「咸其德ヲ」ニセシコトヲ庶幾フトアツテ、咸其德ヲ一ニセントスレバ、
貧民ノ子弟モ自由ニ普通教育ヲ修メシムル途ガナケレバナラヌト思フノデ、
國家ヲ富強ニ致スニハ、實ニ此勅語ニ基キテ億兆心ヲ一ニシ其德ヲ一ニスル
ニアリマス、斯ノ如ク聖旨ノ存スル所ヲ奉體シテ、益々ソレヲ擴メント致シ
ケシムル方法ヲ要スル譯デアリマス、現在ノ學制ニ依レバ、普通學校ニハ
授業料ト云フモノガアリマシテ、即チ小學校ニアリテハ四十錢位ヲ納メシメ
テ居ル、是デハ公立ト云フコトハ出來ナイ、人民ガ公ケノ金ヲ建テ假置クカ
ラ、公立ノ趣意ニ適フノデアリマスガ、是デハ全ク相反シテ居ルデアリマ
スカラ、公立ノ學校トハ云ヘナイノデアアル、極新シイ文部省ノ報告ニ依レ
バ、學齡兒童ノ數ガ七百七十三萬四千四百一十一人デアツテ、サウシテ其内學校
ニ行カレナイ人ガ三萬八千三百六十八人ト云フモノハ、學校ニ往カナイ
實ニ憐ミベキ有様デ、詰リ百人ノ中三十六人ト云フモノハ、學校ニ往カナイ
ノデアリマス、斯ノ如ク致シテアリマシタナラバ此國ト云フモノノ實際ニ國ヲ
富マシ君ニ忠ナル所ノ國民トスルコトハ出來ヌト思ヒマス、故ニ此小學校ノ
所謂六歲ヨリ十四歲マデノ者ハ、國トシテ教ヘナケレバナラヌト云フ義務デ
ゴザイマス、日本デ小學校ノタメニ幾ラ宛人口ニ費シテ居ルカト云フコトヲ
調査シテ見ルト、一人ニ附イテ三十四錢ハカアリマセヌ、ソレニ代ツテ軍事
ノタメニハ二圓四十錢宛シテ居ル譯デアリマス、殆ド八倍此軍ノタメニハ出
シテ置ク、又外ノ國ヲ見ルト亞米利加ノ如キハ、一人ニ附イテ人口ガドレ
ダケ出シテ居ルカト云ヘバ五圓二十二錢デ、軍ノタメニハソレヨリ少ク
二圓四十四錢出シテ居ル、其他孰ノ國デモ日本程此小學ノタメニ、金ヲ出サ
ナイデ置ク國ハアリマセヌ、獨逸ノ如キモ矢張一人ニ附イテ二圓九十一錢
ノ餘出シテ置ク、又英吉利ノ如キモ二圓六十六錢ノ餘出シテ置ク、何處デモ日
本程少ナイ國ハゴザイマセヌ、ゴザイマセヌカラシテ此日本ハ必ズドナタモ
御贊成ニナツテ居ルコト、私ハ信ジマス、唯茲ニ一ツ實際ノ問題ニ至リマスレ
バ、即チ此二百五十萬人ノ學齡兒童ノ子供ヲ教育セヌケレバナラヌ、是ハハ
ろはヲ見タコトノナイ子供等デアアル、國ノ子供等デアアルト云フコトニ附イテ
凡ソ八百萬圓年々イリ譯デアリマス、此金ヲドウ云フ風ニ出シタラバ宜シイ
カト云フコトデ、金モナイノニサウ云フ建議ヲスルノハ、不都合ナコトデハ
ナイカト云フコトガアルカモ知レマセヌガ、是ハ大ニ大切ナル問題デアツテ

私カ即チ建議ヲスル所ノ所以デアリマス、此金ガナイカラ打ヤツテ置イテ宜
シイカ、金ガナケレバ是ハシナクトモ宜シイト云フ譯デアリナイ、先ヅ始リニ
第一ニ此コトハ國デスベキモノカ、國デスベキモノデアリカト云フノガ要點
デアラウト思ヒマス、即チ此國ノ子供ト云フモノハ、是ハ即チ國ノ子供デア
テ、國ガ矢張兵ヲ養フ如ク、或ハ警察官ヲ養フガ如ク、或ハ火ノ番ヲ養フガ
如ク、國デセンケレバナラヌコトデアリマス、故ニ若シヤ是ガ國デスベキコ
トガ道理ニ依リ、又國デ爲スベキコトガ實際當リ前デアツタナラバ、金ノ募
リヤウハセンケレバナラヌ、此金ノ募リ方ハ私ガ研究シタ所ニ依レバ、即チ砂
糖稅ヲ起セバヤサシク出來ル、日本デ今日砂糖ノ稅ト云フモノヲ取リマスレ
バ八百五十萬圓程デアリマス、ソレハドウ云フ風ニ取ルカト云ヘバ、日本デ今
日使ッテ居ル砂糖ハ三千六百萬圓ノ砂糖ヲ使フ、其中二千八百萬圓ハ輸入ニ
ナツテ、我國デ出來ルモノハ六百萬圓デアルカラ、之ニ二割五分ノ稅ヲ掛ケ
ルナラバ、即チ容易ニ自由教育即チ普通教育ト云フモノガ行レルコトデアリ
マス、金ガナイカラ出來ナイ、金ガナイカラ出來ナイト云ヒナガラ、諸君ハ
既ニ此五六十分間前ニ臺灣ノタメニ百萬圓補助ヲ與ヘルト云フコトヲ議決ニ
ナツテ居ル、又不日ニ其銀行ハ二百萬圓モ亦此ヘ貸付ルト云フヤウナコトガ
決議ニナルト云フヤウニ、此委員會デナツテ居リマス斯ノ如ク怒鳴ッテ願フ
所ノ銀行ノ如キモノニハ、ドン／＼出シテヤツテ居ルハ二百五十萬圓殆ド三百萬
ノ國ノ基礎トナル所ノ子供ノタメニ出サヌト云フコトハナイト思フ、故ニド
ウカ諸君御贊成アツテ、我國ニ於テ此國ヲ富マスト云フコトニハ、小學校ヲ
第一トシテ、之ヲ無月謝デ教育センコトヲ私ハ切ニ願ヒマス、一言此所デ御
話申サナケレバナラヌコトハ、砂糖ノ稅ガ取レナイト云フヤウナ方ガアルガ、
是ハ取レルノデアリマス、此獨逸ノ條約ニモ第九條目ニアリマスケレドモ、
是ハ容易ニ取レル譯ニナツテ居ル、ドウカ諸君御贊成ニナルコトヲ願ヒマス
○工藤行幹君(百二十五番) 私ガ先決問題ヲ此場合ニ出シタイ、私ハ此案ニ
附イテハ、則チ特別委員ヲ設ケタイト云フノガ、先決問題デアリマスガ、ソ
レニ附イテ聊カ理由ヲ申シテ置キタイト思フノデゴザイマス、只今根本君
ノ御演說モ此就學兒童ノ數ガ少ナイ、國家教育ヲシナケレバナラヌト云フ
コトハ誠ニ吾々ハ感服ノ至デゴザイマス、流石自由ヲ重シ四民平等ノ權利ヲ
御認ナサレ御方ハ斯クナケレバナラナイト私ハ思フノデゴザイマス、故ニ
吾々ハ兩手ヲ舉ゲテ之ニ贊成ヲ致シタイ者デアゴザイマスガ、茲ニ根本君モ仰
シヤル通金ノコトニ附イテハドウ往クカト云フコトノ御心配ガアツタヤウ
ニ思ヒマスガ、吾々モ實ニ此點ニ附イテハ、杞憂ノ至ニ堪ヘヌ、故ニ本員等ノ
考ヲ以テ見レバ斯ウ云フ國家教育ノ如キ至急ナコトモアルカラシテ、成ルタ
ケ中央ノ費用ヲ節減シテ、サウシテ國ノ文明ノ程度ヲ進メ、日本人民ノ智育ヲ
發達サセタイト云フ考デアルノデゴザイマス、然ルニ殘念ナガラモ今日ニ至
テ既ニ地租ト云フモノハ、吾々ハ地方稅ニ於テ十分此負擔ヲスルニ——學
校ヲ發達セシムルニハ地方稅ノ力ニ依ラナケレバナラヌ、又人民ノ力ヲ強
クシナケレバ、豐ニシナケレバナラヌト云フニ付イテ、斯ウ云フ惡例ハ
餘リ掛ケタクナイト云フコトハ、熱心ナル論デアリマシタケレドモ、如何ニセ
ン或ル論者ノ應援ノタメニ、此不當ナル地方稅モ掛ケラレタノデアアル、而シテ
又一方ニハ唯今ノ砂糖稅ノ如キハ、或ハソレガ宜イカモ知レマセヌ、吾々モ一
己トシテハ或ハ贊成デアアルガ、現政府ノ處置ヲ見レバ、如何ナル譯デアアルカ、

是等ノコトモ爲サズシテ、一方ニ此家屋稅ト云フモノヲ既ニ案ヲ出シテ居ル、是ハ如何ナル趣意デアアルカ、地租ト云ヒ家屋稅ト云ヒ、如何ニモ吾々ハ惡稅デアルト思フ此惡稅ノモノマデモ尙ホ且ツヤルト云フヤウナコトデ、一方デハ此砂糖稅ト云フモノハ、更ニ是マデニ聲モナシ、根本君ノ希望ハ、吾々モ贊成デアアルガ、故ニ若シ此儘ニシテ此建議案ヲ通シテ見タ所ガ、果シテ政府ハ砂糖稅ヲ取ルカ否ヤト云フコトモ分ラヌ益、此上ニドンナ惡稅ヲ掛ケテ來ルカモ分ラヌ位ノ場合デアアル、故ニ或ハ此案ヲ出シテ、一方ニハ此授業料ヲ全廢シ、之ガタメニ國民ガ非常ナル苦ミヲ受ケ、又一方ニハ却テ學事ヲ進歩セシメントシテ、學事ヲ退歩セシムルヤウナ結果ヲ來スダラウト思ヒマス、是等ノ事ニ附イテハ大ニ講究ヲシナケレバナラヌデゴザイマスカラ茲ニ特別委員九名ヲ置イテ調査ヲシテ、果シテ提出者ノ意ノ如クナルカ否ヤ、本員等ノ聞ク所ニ依リマスレバ、政府ハ中々砂糖稅杯ハ、外國ノ氣前ヲ憚ラテ容易ニヤリ得ヌト云フコトヲ聞イテ居ルガ、果シテ然ルヤ否ヤト云フコトモ能ク政府トモ交渉シテ、其見込ノ立ッテ上ニ此案ヲ審查シタイト思ヒマスカラ、特別委員九名ヲ置カレンコトヲ希望致シマス

○橋元島君(七十一番) チョット質問ガアリマスガ、此提出者ノ方デハ國民教育授業料全廢ノ建議案ト云フノデゴザイマシテ、其理由書ヲ見マスルト普通教育ト云フモノ、月謝ハ、悉ク廢スルスウ云フノデアアリマス、コレカラ終リニナルト云フト、コレハ全廢シテ公稅ヲ以テ自由教育ヲ施行スルノ制度ヲ立テタイカラ、帝國議會ノ協賛ヲ求メラレンコトヲ望ムタル、小學校ノ授業料ヲ廢スルナルト云フノガ趣意ノヤウニ聞イテ居ルガ、果シテ小學校ノ授業料ヲ廢スルナラバ、吾々ハ其——私ハ確カリ覺エマセヌケレドモ、小學校令ノ規定ニ據ッテ即チ勅令デ定マツテ居ルヤウニ思ヒマス、サウスレバ政府ニ建議スレバ、政府ガ果シテ其建議ヲ容レルナラバ、其勅令ノ改正ヲ爲スガ宜シイノデアアルヤウニ思ウテ居ルガ、提出者ハ帝國議會ノ協賛ヲ求メラレンコトヲ望ムタルト云フノハ、別段ニ小學校ヘ是ダケニ當ル金ヲ補助スル案ヲ出シテ吳レト云フ希望デアリマスガ、コレカラ普通教育ト云フノハ、中等教育ヲ指シテ云フノデアアリマスガ、小學校ノミヲ指シテ云フノデアアリマスガ、又小學校ノ部デハ尋常ノ方ト高等ノ方ヲ併セテ免除シヤウト云フノデアアリマスガ、其邊ヲ一應伺ッテ置キタイ

○根本正君(三百番) 御答ヲ致シマス、此政府ガ日本國民ノ子供等ノ中殆ド二百五十万人ガ學問ヲシナイデ居ルモノニ附イテ、殘ラズ學問ガ出來ルヤウニスルヲ云フノガ、一番ノ趣意デアリマシテ、其月謝ト云フモノヲ即チ政府ガ國稅ヲ以テ助ケル即チ出スベカラザル所ヘ出サナイデ、此教育ノ如キ例ヘバ十分ノ研究ヲシテ、外ノ所ハ出サズトモ是ハ出サナケレバナラヌト云フ即チ工藤君ノ御趣意ト同ジコトデアリマス、又此普通教育ハドレツカガ普通教育デト仰ッシヤイマスガ、即チ私ガ先刻議場デ申シマシ通六ツカラハ四マデノモノデ、即チ此高等小學校又此一番下ノ方ノ小學ノ子供等ノコトモ云ヒマシタ譯デアリマシテ、コレヲ自由教育ニシナケレバナラヌト云フ趣意ヲ申シタデアリマス

(委員付託)ト呼フ者アリ又、贊成々々ト呼フ者アリ
○橋元島君(七十一番) モウ少シ尋ネナケレバ分ラヌ、此公稅ヲ以テ自由教育ヲスルノ制度ヲ立ッテ吳レト云フノデアアッテ、詰リ小學校ノ制度ハ、公費ヲ立ッテ居ル、ソレヲ更ニ帝國議會ノ協賛ヲ求メテ貰ヒタイト云フノハ、ド

ウ云フ趣意ニナルノデス、ソレダケノ金ヲ國庫カラ補助シヤウト云フ趣意デアリマスガ、ドウデアリマス

○根本正君(三百番) ソレハ矢張其足リナイ所ハ補助スル譯デアリマシテ、詰リ子供二人持ッタ者モ、一人モ持タナイ者モ、其身代ニ依ッテ稅ヲ出ス、詰リ子供ノ親カラ稅ヲ出サセルト云フノハ、不都合ダト云フノデアアルカラ、地方稅デアラウガ、國庫デアラウガ、或ハ縣稅デアラウガ、不足ノモノハ國カラ出シテ親ヲ取ラナイヤウニシタイ、即チ百人ニ附イテ三十六人ノ不就學ガアルト云フヤウナコトハ、譯ガ分ラヌ……

(委員付託贊成々々ト呼フ者アリ)

○議長(片岡健吉君) 委員說ガ出テ居リマスカラ——工藤行幹君ノ此案ニハ特別委員ヲ置クト云フ說ニ附イテハ、御異議ハゴザイマセヌカ、議長ガ九名ノ委員ヲ指名シテ宜シウゴザイマスガ

(異議ナシ異議ナシト呼フ者アリ)

○議長(片岡健吉君) 御異議ガナケレバ其通致シマス——次ハ議事日程ノ第二十二府縣水產試驗所水產講習所國庫補助建議案ノ朗讀ヲ消略致シマス
恆松隆慶君

第二十二

府縣水產試驗所水產講習所國庫補助建議案(恆松隆慶君外二名提出)

我國ハ四周環海水產ノ利甚饒多ナリ然ルニ斯業ノ進歩發達ヲ圖ルニハ水產ニ關スル學術技術ヲ講習試驗スル講習所及試驗所ヲ設置シ以テ當事者ノ智識ヲ開發指導スルヨリ急ナルハナシ近來各府縣ニ於テ其ノ必要ヲ認メ既ニ少カラサルカ爲ニ往々其ノ目的ヲ達スルコト能ハサルハ頗遺憾ナリトス故ニ政府ハ此ノ如キ設備ヲ爲スモノニ對シテ國庫ヨリ相當ノ補助金ヲ下附シ之ヲ成立立補助スル業ノ進歩發達ヲ圖ラレムコトヲ希望ス
右建議ス

○恆松隆慶君(九十七番) 極簡短ニ述ベヤウト考ヘマスルデ、此席カラ述ベマス諸君ノ御承知ノ通我帝國ハ環海八千里、漁民ノ數ガ一百餘万モアリマス、實ニ水產ノ人タルモノデゴザイマス、ソコデ國家經濟上是等ニハ獎勵シテ國ノ富源ヲ求ムルガ必要ト考ヘマス、ソレデ此案ヲ提出致シタノデゴザイマスガ、此案ニ附イテハ別ニ金額トカ補助ノ手續トカ云フモノハ、書イテナカ、ドウカ諸君ニ於テ御贊成即決アラント云フ望ミマス
(贊成々々ト呼フ者アリ又、委員付託ト呼フ者アリ)

○議長(片岡健吉君) 委員付託ノ說ガ出マシタ是ニ贊成ガアリマスカラ採決致シマス、九名ノ委員ヲ議長ガ指名スルコトニ同意ノ諸君ハ起立ヲ願ヒマス
起立者 多數

○議長(片岡健吉君) 多數——委員ニ付託スルコトニナリマシタ、ソレカラ御注意致シテ置クト多アリマス、ドウゾ特別委員ニナラレタ諸君ハ、成ルベク御勉強ナサレテ、十分審査ヲナスッテ、早ク議長ノ手許マデ御報告アラント望ミマス、明日ハ休會ヲ致シテ、議事日程ハ追テ書面ヲ以テ御通知致シマス、今日ハ是ニテ散會ヲ致シマス
午後四時五分散會